I-O DATA

i・CONNECT対応 MOドライブ

MOA/1394シリーズ

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

95644-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
8) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
9) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
10) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
11) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
12) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
13) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
14) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- i·CONNECTおよびi·CONNECTのロゴは、株式会社アイ・オー・データ機器の商標です。
- Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- Apple,Macintosh,Power Macintosh,PowerBook,iBook,Mac,FireWireは、米国Apple Computer,Inc.の登録商標です。
- Power Mac,iMac,は、米国Apple Computer,Inc.の商標です。
- i.LINK,VAIOは、ソニー株式会社の商標です。
- RINGOWINは富士通株式会社の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

警告および注意表示

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

△

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

●

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

本製品を修理・改造・分解しないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。

本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。

本製品の取り付け、取り外しの際は、必ず本書で、取り付け取り外し方法をご確認ください。

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。

本体を濡らしたり、お風呂場では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

厳守

ACアダプタについては以下にご注意ください。

●必ず添付のＡＣアダプタを使用してください。
●電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
●電源コードをＡＣコンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。コードを引っ張ると、断線または短絡して、火災および感電の原因となることがあります。
●電源コードの電源プラグは、濡れた手でＡＣコンセントに接続したり、抜いたりしないでください。感電の原因となります。
●電源コードがＡＣコンセントに接続されているときには濡れた手でパソコン本体に触らないでください。感電の原因となります。
●ACアダプタにものを乗せたり、かぶせたりしないでください。
●保温・保湿性の高いものの近くで使用しないでください。
（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）

⚠ 注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所
- ●保温・保湿性の高いものの近く（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）

本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない

本製品（ソフトウェア含む）は、日本国内仕様です。

本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、およびアフターサービスなどを行っておりません。あらかじめ、ご了承ください。

お読みになる前に

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お使いの前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

呼び方

呼び方	意　味
MOA-iシリーズ	本製品のMOドライブ
本製品	MOA/1394シリーズ、または「MOA-iシリーズとIEEE 1394コンバータ＆ケーブルを接続したもの」
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System, Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System の総称
Windows Me/98	Windows Me,Windows 98の総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows	Windows Me/98,Windows 2000の総称

マークの説明

注意
本製品を使う上で、注意すべきことが書かれています。

参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

もくじ

必ずお守りください i
お読みになる前に v
もくじ vi

はじめに **1**

箱の中には 2
動作環境 4
注意事項 5
各部の名前 8
添付品を取り付けよう 11
お使いのOSは？ 14

Mac OS 8/9でお使いの場合 **15**

使えるようにしよう 16
基本操作について 23

Windows 2000でお使いの場合 **27**

使えるようにしよう 28
基本操作について 36
ユーティリティソフトについて 40

Windows Me/98 SEでお使いの場合 **45**

Windows 98 SEをアップデートしよう 46
使えるようにしよう 48
基本操作について 57

付録 **63**

困った時には 64
サポートソフトの削除 77
B'sCrew FWでの初期化 82
RINGOWIN LEについて 84
Windows Me/98とMac OSでデータ交換しよう 85
用語解説 91
ハードウェア仕様 92

サポートセンターへのお問い合わせ 94
サポートソフトのバージョンアップ 95
修理について 96

はじめに

箱の中には ・・・・・・・・・・・・・・・・・2

箱の中のものを確認します。

動作環境 ・・・・・・・・・・・・・・・・・4

本製品を使うことができるパソコン環境を説明します。

注意事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・5

本製品を使う上での注意を説明します。

各部の名前 ・・・・・・・・・・・・・・・・・8

スイッチなどの名前と機能を説明します。

添付品を取り付けよう ・・・・・・・・・・・・・・・11

添付品を取り付ける方法を説明します。

お使いのOSは？ ・・・・・・・・・・・・・・・14

お使いのOSに合ったページを案内します。

箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。

□にチェックをつけながら、ご確認ください。

万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

参考

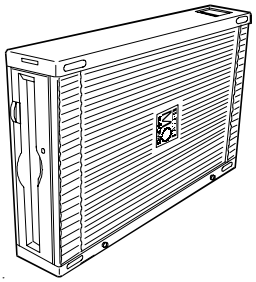
箱・梱包材は

大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

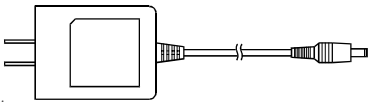
イラストについて

実物と若干異なる場合があります。

□ **MOドライブ(1個)**［MOA-iシリーズ］

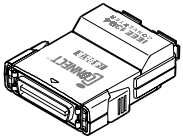


□ **ACアダプタ(1個)**



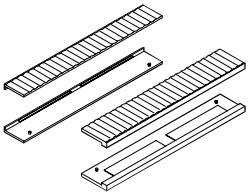
□ **IEEE 1394コンバータ(1個)**

［IEEE 1394ポート 6ピン×2］

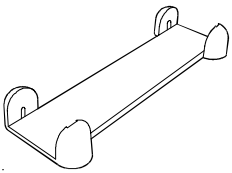


□ **IEEE 1394ケーブル**
(2種類 各1本)

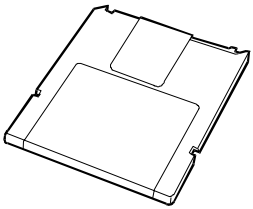
□ **カラーサイドパーツ(5色 各4個)**



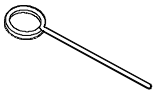
□ **スタンド(1個)**［縦置き用］



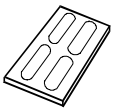
☐ **MOディスク(1枚)**
［MOA-i640/1394：640Mバイト、
MOA-i1.3/1394 ：1.3Gバイト］



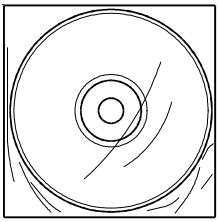
☐ **強制イジェクト・ピン(1本)**



☐ **ラバーフット(4個)**［横置き用］



☐ **MOA/1394シリーズサポートソフト(1枚)**
［ハイブリッドCD-ROM(Windows/Mac OS)］



・1394 CC サポートソフト
・MOシリーズサポートソフト
・Windows 2000用MOユーティリティソフト
・RINGOWIN LE

☑ **MOA/1394シリーズ取扱説明書(本書：1冊)**
☐ **ハードウェアシリアルNo.シール(1枚)**
☐ **ハードウェア保証書(1枚)**
☐ **ユーザー登録カード(1枚)**
☐ **ビー・エイチ・エー社ユーザ登録ハガキ(1枚)**

参考

ユーザー登録は済ませましたか？
「ユーザー登録カード」に登録方法が記載されています。

Mac OS 8/9をお使いの方は・・・
「ビー・エイチ・エー社ユーザ登録ハガキ」でユーザ登録してください。
登録方法は「ビー・エイチ・エー社ユーザ登録ハガキ」に記載されています。

動作環境

本製品を使うことのできるパソコン環境を説明します。

対応機種および対応OS

次の条件を満たすこと

・本製品を接続できるIEEE 1394(FireWire, i.LINK)ポートがあること。
※弊社製IEEE 1394インターフェイス（GV-DVC/PCI, GV-DVC2/PCI, GV-DVC/CB, GV-DVC2/CBを除く）を装着した機種でもご利用いただけます。
※弊社では、OHCI準拠のIEEE 1394インターフェイスで動作確認しています。
・インストール時にCD-ROMドライブがあること。

対応機種	対応OS（日本語版のみ）
Apple iMac DV PowerMac G4 Cube PowerMac G4 PowerMacintosh G3(Blue & White) iBook PowerBook G4 PowerBook G3	Mac OS※1 8.6, 9, 9.0.4, 9.1
NEC PC98-NXシリーズ DOS/Vマシン※2※3	Windows 2000 Windows Me Windows 98 SE

※1　FireWire 2.1以降のみ対応です。アップデートについては、アップルコンピュータ株式会社のホームページ（http://www.apple.co.jp/）をご覧ください。

※2　弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認をしています。

※3　下記のSONY VAIOノートではお使いになれません。
・購入時にWindows 98(Second Edition除く)またはWindows 95がプリインストールされていたモデル（OSをバージョンアップしても使えません）
・PCG-F34/BP, PCG-Z505JL, PCG-Z505J/BP, PCG-Z505JX

FireWireのバージョン確認方法

① [メニュー] → [コントロールパネル] → [機能拡張マネージャ] をクリックします。
② [FireWire Enabler] または [FireWire Support] のバージョンを確認します。 [J1-] や [J2-] の後の数字がバージョンです。

注意事項

【必ずお守りください】(iページ)と、MOA/1394シリーズサポートソフト内の「README.TXT」や「はじめにお読みください」も併せてご覧ください。

安全上の注意

●濡れた手で、本製品を取り扱わない

感電や、本製品の故障の原因となります。

●本製品に付いた汚れを落とす場合は・・・

柔らかい布で乾拭きしてください。
洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めて使ってください。
ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使わないでください。

●本製品のコネクタ部分に金属を差し込まない

感電や、本製品の故障の原因となります。

●動作中にケーブルを激しく動かさない

接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因となることがあります。

●定期的にバックアップする

記録されたデータやプログラムファイルは、誤動作や故障などによってファイルが破壊された場合、復旧することができません。

●本製品を長時間、連続で使わない

本製品内部は書き込み時、かなり高温になります。そのため長時間、MOディスクのフォーマットや書き込み作業を行うと、本製品の安全装置が働き、処理が中断されてしまう場合があります。
このような場合は、本製品を取り外して電源を切り、本製品をしばらく冷やしてください。その後、中断された処理を再び行ってください。

使用上の注意

●本製品内部で結露させたまま使わない

本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、本体内部が結露する場合があります。そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。時間をおいて、結露がなくなってから使ってください。

●本製品内部に液体、金属などの異物を入れない

本製品の故障の原因となります。

●640Mバイト以上のMOディスクは圧縮ドライブとして使わない

●MOディスクに「ディスクコピー」を使わない

「ディスクコピー」は、MOディスクに対応していません。エラーメッセージが表示されたり、パソコンが動かなくなります。

●MOディスクの読み書き中に、下記に注意する

・MOディスクを取り出したり、パソコンや本製品の電源を切らない

記録されたファイルの読み書きができなくなったり、MOディスクが傷つき、使えなくなる場合があります。

・省電力モードにしない

MOディスク内のデータが破損する原因となります。

省電力モード

スタンバイ/休止/スリープなどを指す。

●長期間使わない場合は、ACアダプタを電源コンセントから抜く

ACアダプタを長時間接続していると、電力消費・発熱します。

●MOディスク内部に直接触れない

MOディスクが故障する原因となります。

●MOディスクのシャッターにラベルを張らない

本製品、MOディスクが故障する原因となります。

●ラベルを2重3重に重ねて張らない

本製品内部ではがれ、故障の原因となります。

●本製品内部のクリーニングについて

空気中に浮遊するゴミ・チリ、およびタバコの煙などにより、データの読み書きができなくなるおそれがあります。
なお、タバコの煙がレンズなどに付きますと、クリーニングキットでは取れない汚れとなる場合があります。本製品の周囲での喫煙はお控えください。
日常のお手入れとしては、下記のクリーニングキットをお使いの上、定期的なクリーニングをお願いいたします。

推奨クリーニングキット

「Head CLEANER No.0240470」（富士通コワーコ株式会社）
住所　〒160-0023
東京都 新宿区西新宿 6-24-1　西新宿三井ビルディング
TEL/FAX　03-3342-5460/03-3342-5446
Web　http://www.coworco.fujitsu.com/

本製品の取り扱いについて

富士通株式会社の下記ホームページも併せてご覧ください。
http://mo.fujitsu.com/support/maintain/

上記クリーニングキットをお使いください

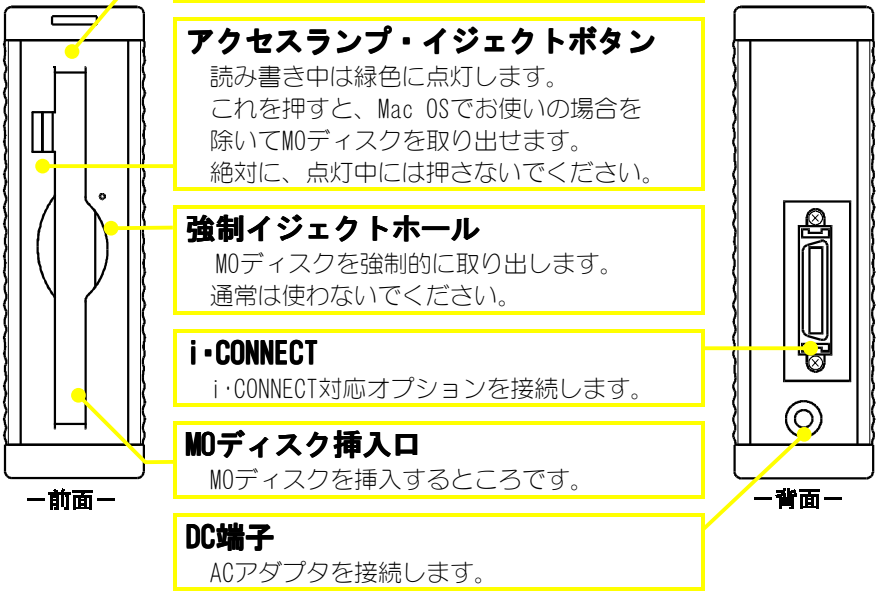
弊社では、上記クリーニングキットでのみ動作保証を行っております。
これ以外の市販品では動作の保証は行っておらず、弊社製品に対しお使いになりますと、本製品内部の損傷原因となる場合があります。ご注意ください。

各部の名前

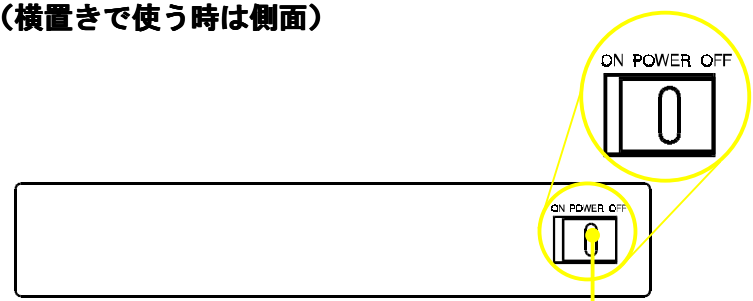
各部の名称および機能の確認をします。

MOドライブ(MOA-iシリーズ)

●前背面



●上面（横置きで使う時は側面）



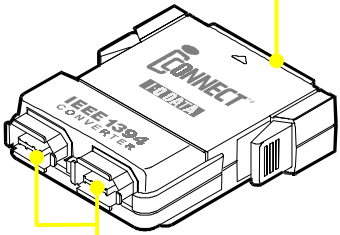
電源スイッチ

前面へ動かすと、電源が入ります。

IEEE 1394コンバータ

i･CONNECT対応コネクタ

i･CONNECTと接続します。



IEEE 1394ポート（6ピン）

IEEE 1394ケーブルを接続します。

IEEE 1394コンバータについて

添付のIEEE 1394コンバータは、本製品のMOドライブ専用です。
他のi･CONNECT搭載ドライブに、IEEE 1394コンバータを接続しての使用は保証いたしかねます。

IEEE 1394ケーブル

IEEE 1394コネクタ（6ピン）

IEEE 1394コンバータやIEEE 1394ポートに接続します。

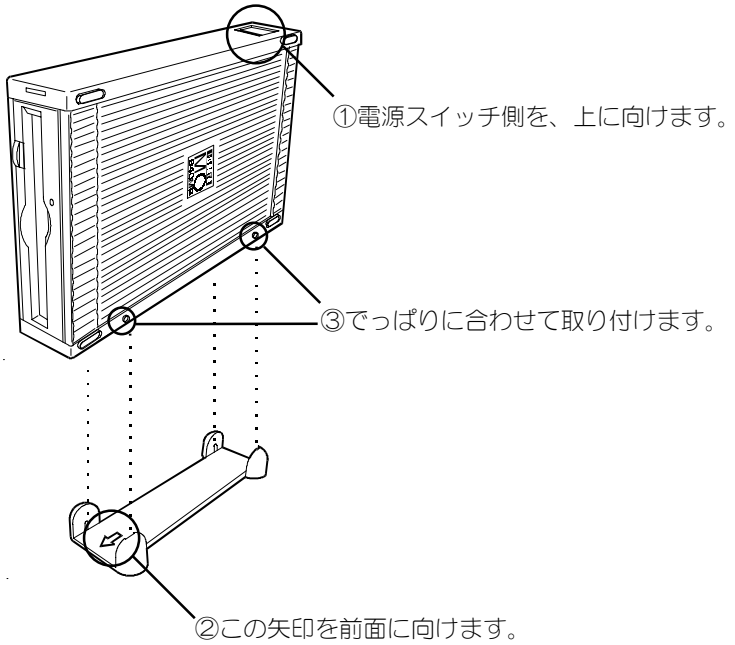
IEEE 1394コネクタ（4ピン）

i.LINKポートに接続します。

添付品を取り付けよう

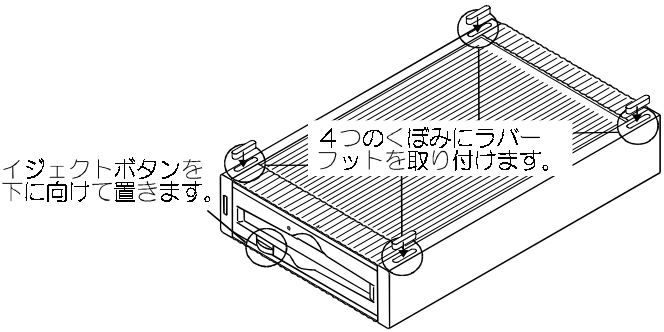
添付品の取り付けについて説明します。

縦置きで使う　～スタンドの取り付け～



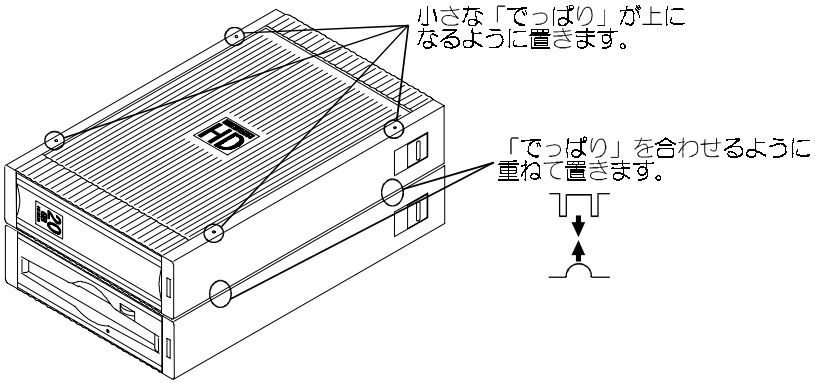
横置きで重ねず使う　～ラバーフットの取り付け～

本製品を安定した場所にイジェクトボタンを下に向けて置き、４個所にラバーフットを取り付けます。取り付けた後は、ラバーフットを下にして置いてください。
※本製品を他のMOAシリーズやHDA-iシリーズの上に重ねて使う場合は、ラバーフットは取り付けないでください。



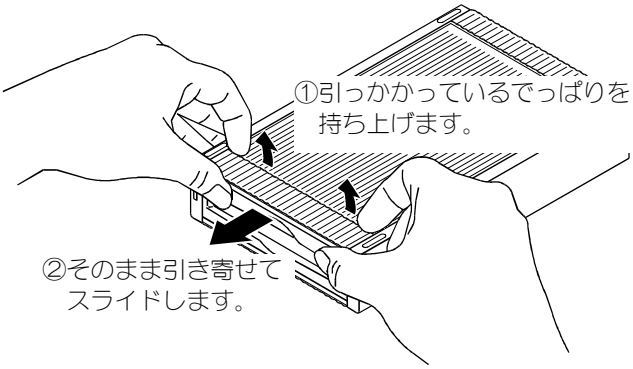
横置きで重ねて使う

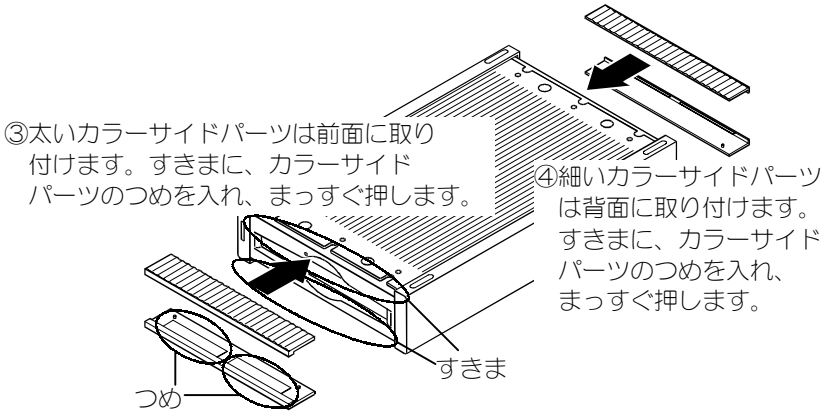
MOAシリーズやHDA-iシリーズと重ねて置けます。（本製品を含めて２台まで）
下に置くものには上記をご覧になり、ラバーフットを取り付けてください。
上に重ねるものは、そのまま図のように置いてください。



色を変える　～カラーサイドパーツの取り付け～

本製品には、コーディネートをお楽しみいただくためにカラーサイドパーツが添付されています。
お使いのパソコンの色に合わせて、下のように取り替えてみてはいかがでしょうか。





お使いのOSは？

ここでは、お使いのOSに合ったページを案内しています。
下の表をご覧になり、それぞれのページへお進みください。

お使いのOS	章	
Mac OS 8/9	【Mac OS 8/9でお使いの場合】	15ページ
Windows 2000	【Windows 2000でお使いの場合】	27ページ
Windows Me/98	【Windows Me/98 SEでお使いの場合】	45ページ

Mac OS 8/9でお使いの場合

使えるようにしよう ・・・・・・・・・・・・・・１６

はじめて本製品を接続する際の手順について説明します。

基本操作について ・・・・・・・・・・・・・・２３

本製品を使う上での操作について説明します。

使えるようにしよう

はじめて本製品をIEEE 1394ポートに接続する際の手順について説明します。

IEEE 1394コンバータを使えるようにする

IEEE 1394コンバータを使えるようにします。

注意

まだIEEE 1394コンバータを接続しないでください

IEEE 1394コンバータは本手順内で「接続する」という記載があるまで接続しないでください。（次ページの手順**5**以降で接続します。）

1 Mac OS 8/9を起動します。

パソコンの電源を入れ、Mac OS 8/9を起動します。

2 「MOA/1394シリーズサポートソフト」を挿入します。

「MOA/1394シリーズサポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。

⇒自動で「MOA/1394シリーズサポートソフト」の中が表示されます。

参考

自動で開かなかった場合は・・・

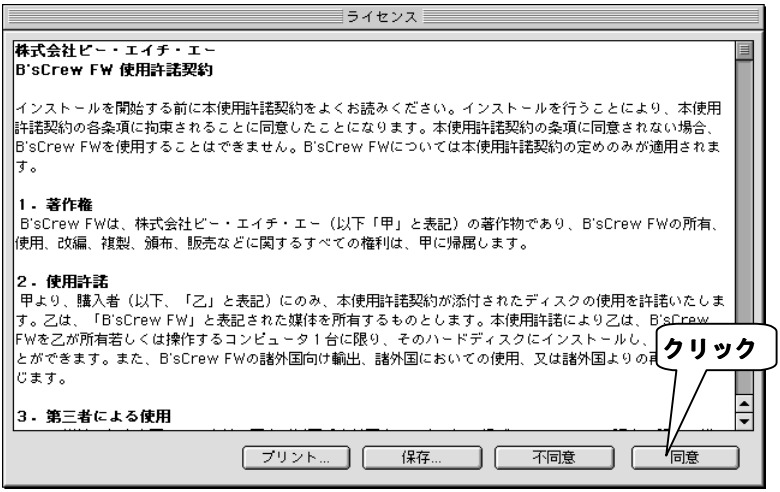
デスクトップ上にあるCD-ROMのアイコン(MOA_1394_xxx：xxxには数字が入ります)をダブルクリックしてください。

3 [B'sCrew FW Installer]をダブルクリックします。

[1394CC]→[B'sCrew FW Installer]の順にダブルクリックします。

4 使用許諾契約を読み、同意するかどうかを決定します。

内容に同意するなら［同意］ボタンをクリックします。
このインストールをするには、同意する必要があります。



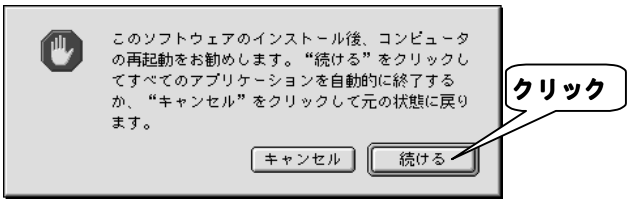
5 ［続ける］ボタンをクリックします。

6 ［インストール］ボタンをクリックします。

インストールの場所を変えたい場合は
［インストールの場所］を設定してください。
通常、変える必要はありません。

7 ［続ける］ボタンをクリックします。

⇒「B'sCrew FW」がインストールされます。

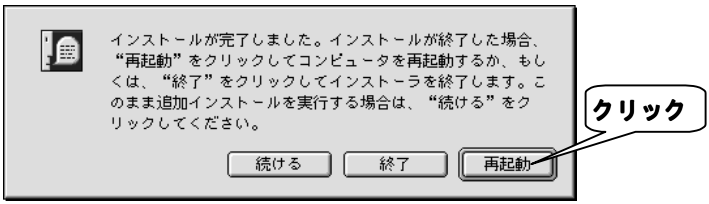


8 再起動します。

①「MOA/1394シリーズサポートソフト」を取り出します。

②［再起動］ボタンをクリックします。

⇒パソコンが再起動されます。

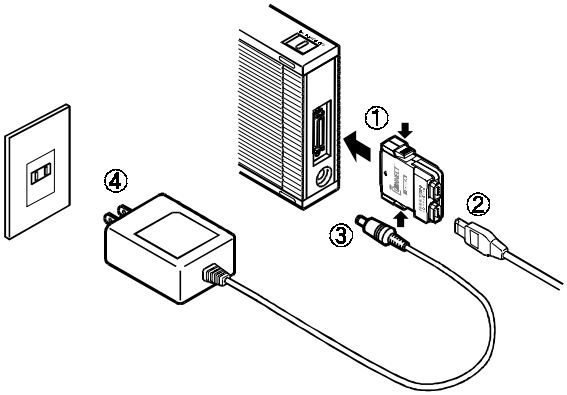


接続する

IEEE 1394ポートへの接続について説明します。

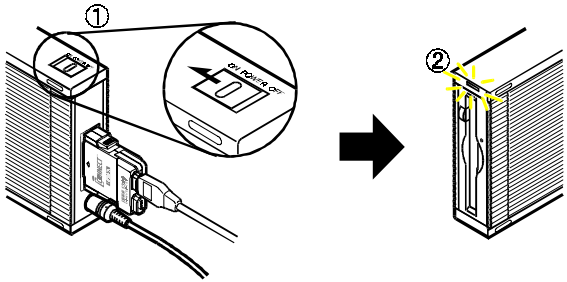
9 MOドライブに接続します。

①IEEE 1394コンバータの両脇を押さえながら、MOドライブにまっすぐに差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認します。
②IEEE 1394コンバータに、IEEE 1394ケーブル(6-6ピン)を接続します。
③MOドライブに、添付のACアダプタを接続します。
④ACアダプタを電源コンセントに接続します。



10 本製品の電源を入れます。

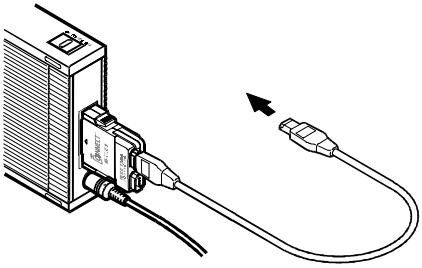
①電源スイッチを「ON」側に入れます。
②電源ランプが点灯するのを確認します。



// 本製品をIEEE 1394ポートに接続します。

IEEE 1394ケーブルをIEEE 1394ポートにまっすぐ接続します。

IEEE 1394ポートの場所については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。



以上で、本製品は使えるようになりました。
次に、本製品が使えるか確認しましょう。

確認しよう

本製品が使えるかどうかを確認します。

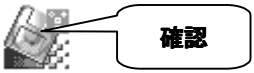
1 本製品に添付のMOディスクを挿入します。

参考

初期化されていないMOディスクを挿入したら･･･
画面が表示され、初期化をすすめられます。
【●MOディスクを初期化する】(25ページ)をご覧になり、先にMOディスクを初期化してください。

2 本製品のアイコンが表示されている事を確認します。

デスクトップ上にMOディスクのアイコンが表示されます。



注意

アイコンがない
【本製品のアイコンが表示されない】(65ページ)をご覧ください。

3 「Apple システム・プロフィール」を開きます。

メニューの中の［Apple システム・プロフィール］をクリックします。

4 ［デバイス(装置)とボリューム］タブをクリックします。

5 ［fw609e,xxxxx］を確認します。

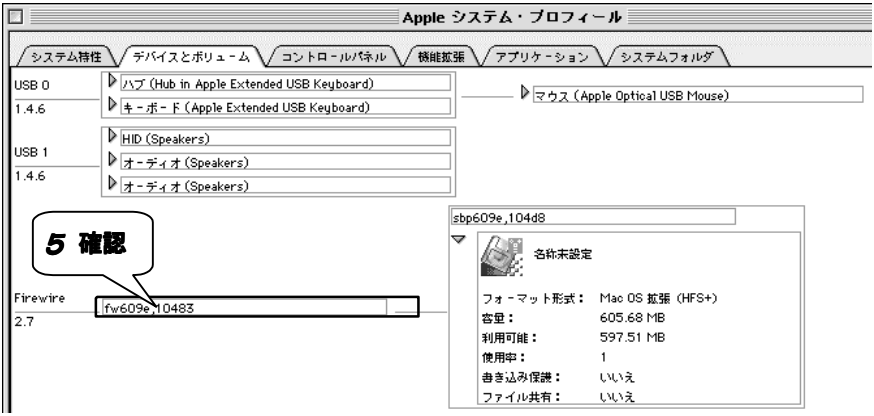
［FireWire］の中に［fw609e,xxxxx］があることを確認します。
※ xxxxxには数字が入ります。

注意

［fw609e,xxxxx］がない
【接続する】(19ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

以上で、確認は終了です。本製品をお使いいただけます。

Mac OS 9.1の例


Apple システム・プロフィール
システム特性
デバイスとボリューム
コントロールパネル
機能拡張
アプリケーション
システムフォルダ
USB 0
1.4.6
ハブ (Hub in Apple Extended USB Keyboard)
キーボード (Apple Extended USB Keyboard)
マウス (Apple Optical USB Mouse)
USB 1
1.4.6
HID (Speakers)
オーディオ (Speakers)
オーディオ (Speakers)
5 確認
Firewire
2.7
fw609e,10483
sbp609e,104d8
名称未設定
フォーマット形式： Mac OS 拡張 (HFS+)
容量： 605.68 MB
利用可能： 597.51 MB
使用中： 1
書き込み保護： いいえ
ファイル共有： いいえ

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
本製品を接続する	本ページ
本製品を取り外す	本ページ
MOディスクの操作	次ページ

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。

1 本製品の電源を入れます。

2 本製品をFireWireポートに接続します。

本製品を取り外す

操作	
●パソコンの電源を切って取り外す	本ページ
●パソコンの電源を切らずに取り外す	次ページ

●パソコンの電源を切って取り外す

1 本製品からMOディスクを取り出します。
方法については【●MOディスクを取り出す】(25ページ)をご覧ください。

2 Mac OSを終了し、パソコンの電源を切ります。

3 本製品をFireWireポートから取り外します。

4 本製品の電源を切ります。

●パソコンの電源を切らずに取り外す

1 本製品からMOディスクを取り出します。

方法については【●MOディスクを取り出す】(次ページ)をご覧ください。

2 本製品をFireWireポートから取り外します。

3 本製品の電源を切ります。

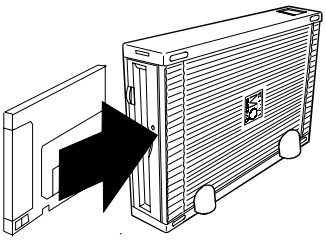
MOディスクの操作

操作	
●MOディスクを挿入する	本ページ
●MOディスクを取り出す	次ページ
●MOディスクを初期化する	次ページ

●MOディスクを挿入する

1 MOディスクを挿入します。

MOディスクの表側をアクセスランプに向けてMOディスク挿入口へまっすぐに挿入し、カチッと音がするまで押し込みます。



注意

MOディスクの金属部分を持たないでください

静電気が本製品内部に放電され、故障の原因となります。

2 アクセスランプが点灯後、消灯したことを確認します。

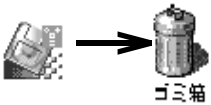
●MOディスクを取り出す

イジェクトボタンは使えません
イジェクトボタンを押してもMOディスクは取り出せません。

1 本製品のアクセスランプが消灯しているのを確認します。

2 MOディスクのアイコンをごみ箱に捨てます。

⇒自動的にMOディスクが出てきます。



MOディスクを取り出せない
【MOディスクを取り出せない】(66ページ)をご覧ください。

複数パーティションのMOディスクを取り出す場合
全てのパーティションのアイコンをゴミ箱に捨ててください。

●MOディスクを初期化する

Windows Me/98とデータを交換するための初期化について
【Windows Me/98とMac OSでデータ交換しよう】(85ページ)をご覧ください。

B'sCrew FWを使って初期化したい場合
【B'sCrew FWでの初期化】(82ページ)をご覧ください。

MOディスクに一部読み書きできない不良セクタができた場合
そのMOディスクをそれ以上使わないでください。
ただし、SCSI MOドライブか、Windows 2000の「MOディスクフォーマッタ」にてそのMOディスクを物理フォーマットすることにより再び使うことができる場合があります。

1 本製品にMOディスクを挿入します。

⇒デスクトップにMOディスクのアイコンが表示されます。

いきなり手順4の画面になることがあります。
その場合は、次ページの手順**4**にお進みください。

2 MOディスクのアイコンをクリックします。

3 ［ディスク(装置)の初期化］をクリックします。

Finderメニューの［特別］をクリックし、表示された［ディスク(装置)の初期化］をクリックします。

4 初期化を行います。

①［名前］にMOディスクに付ける名前を入力します。
②［フォーマット］を選択します。
③［初期化］ボタンをクリックします。
⇒MOディスクの初期化が始まります。

初期化できない

【MOディスクを初期化できない】(73ページ)をご覧ください。

［フォーマット］の選択について

フォーマットには［Mac OS標準］を選ぶことをおすすめします。

本製品で初期化したMOディスクは

Mac OS上で有効な他のMOドライブでも使えます。
ただし、このMOディスクからOSを起動することはできません。

DOS形式を選択して初期化したい場合は

Windowsでフォーマットしてください。

DOS形式フォーマットのみ選択可能の場合は

Windowsでフォーマットしてください。

Windows 2000でお使いの場合

使えるようにしよう ・・・・・・・・・・・・・・２８

はじめて本製品を接続する際の手順について説明します。

基本操作について ・・・・・・・・・・・・・・３６

本製品を使う上での操作について説明します。

ユーティリティソフトについて ・・・・・・・・・・・・・・４０

本製品のユーティリティについて説明します。

使えるようにしよう

はじめて本製品をIEEE 1394ポートに接続する際の手順について説明します。

1 Windows 2000にAdministrator権限でログオンします。

パソコンの電源を入れて、Windows 2000にAdministrator権限でログオンします。

MOドライブを使えるようにする

2 「MOA/1394シリーズサポートソフト」を挿入します。

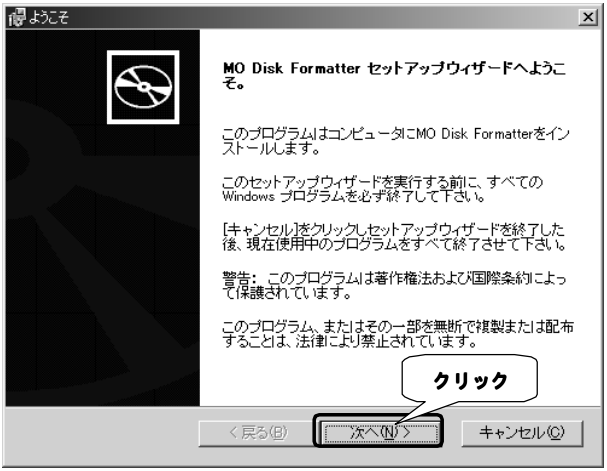
「MOA/1394シリーズサポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。

3 「MOFORMAT」を実行します。

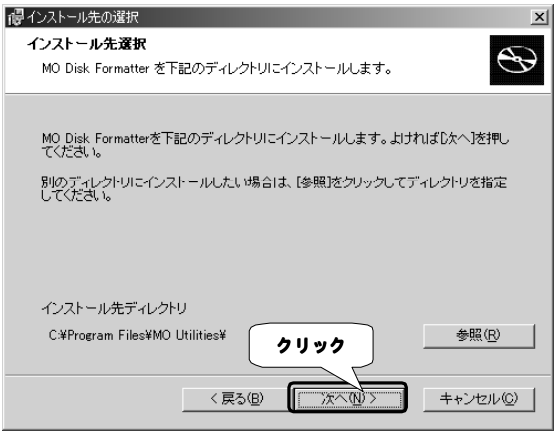
［マイコンピュータ］→［MOA1394_xxx］→［WIN2KUTL］→［MOFORMAT］の順にダブルクリックします。

※ xxxには数字が入ります。

4 ［次へ］ボタンをクリックします。



5 ［次へ］ボタンをクリックします。

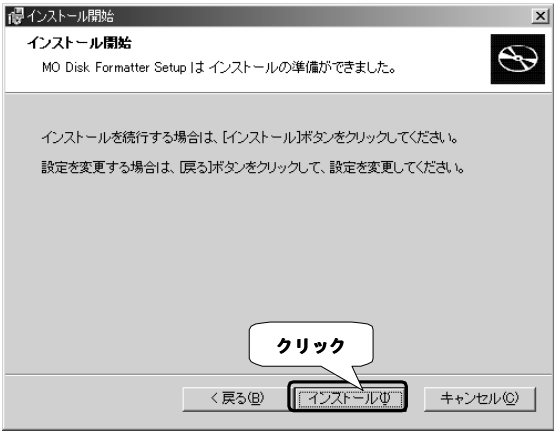


インストール先のフォルダを替えたい場合

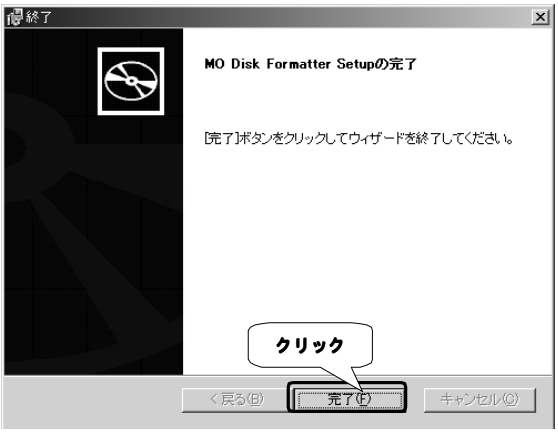
［参照］ボタンをクリックして変更してください。
通常は変更する必要はありません。

6 ［インストール］ボタンをクリックします。

⇒「README」が開きます。お読みください。



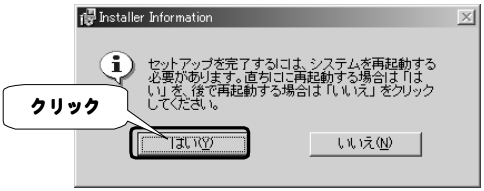
7 ［完了］ボタンをクリックします。



8 再起動を行います。

「MOA/1394シリーズサポートソフト」を抜き、［はい］ボタンをクリックします。

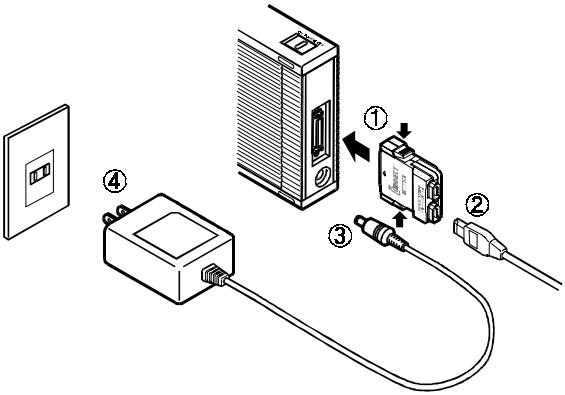
⇒再起動されます。再起動後に、次の手順にお進みください。



接続する

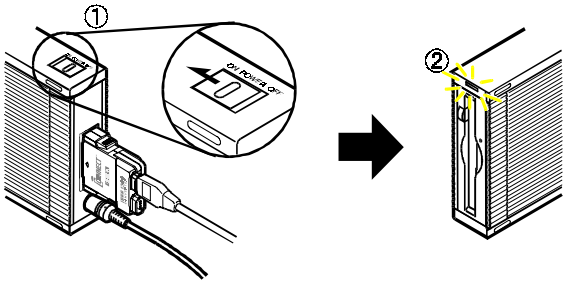
9 MOドライブにケーブル、ACアダプタを接続します。

①i･CONNECT対応コネクタの両脇を押さえながら、MOドライブにまっすぐ差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認します。
②MOドライブに、添付のACアダプタを接続します。
③ACアダプタを電源コンセントに接続します。



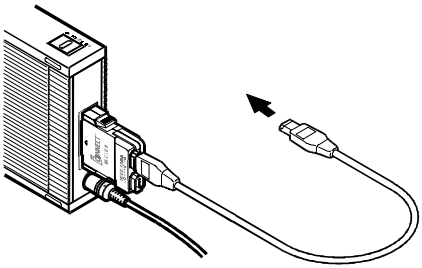
10 本製品の電源を入れます。

①電源スイッチを「ON」側に入れます。
②電源ランプが点灯するのを確認します。



// 本製品をIEEE 1394ポートに接続します。

IEEE 1394ケーブルをIEEE 1394ポートにまっすぐ接続します。
IEEE 1394ポートの場所については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。



以上で本製品は使えるように設定されました。
次は、本製品が使えるか確認しましょう。

確認しよう

ここでは本製品が使えるかどうかを確認します。

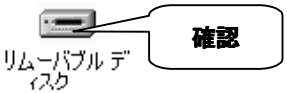
1 本製品にMOディスクを挿入します。

2 本製品のアイコンを確認します。

①［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。

②［マイコンピュータ］の中に［リムーバブルディスク］アイコンがあることを確認します。

⇒これが本製品のアイコンです。



［リムーバブルディスク］アイコンがない

【本製品のアイコンが表示されない】(65ページ)をご覧ください。

複数の［リムーバブルディスク］アイコンがある場合

Windowsでフォーマットされ MOディスクを本製品のみに挿入します。

［リムーバブルディスク］アイコンを順番に開いていき、そのMOディスクの内容が表示されるアイコンが本製品のアイコンです。

3 「システムのプロパティ」を開きます。

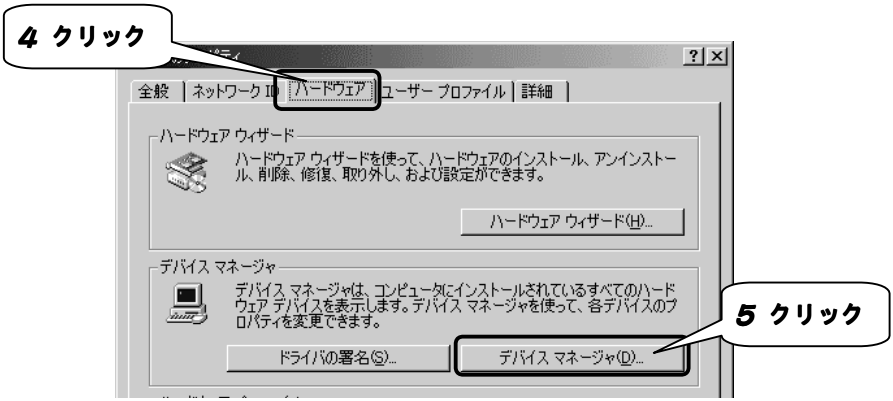
［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

4 ［ハードウェア］タブをクリックします。

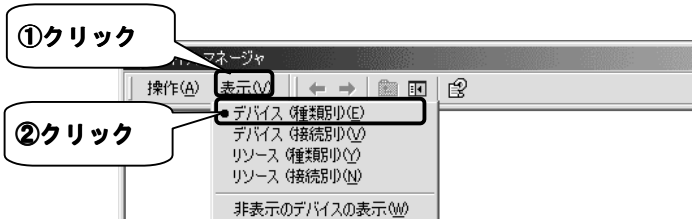
画面例は次ページ

5 ［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

画面例は次ページ



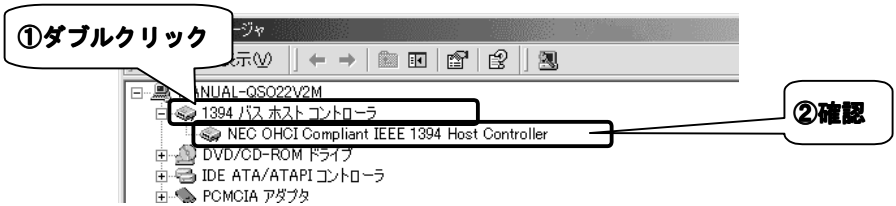
6 ［表示］→［デバイス(種類別)］を選択します。



7 IEEE 1394コントローラの名前を確認します。

①［1394 バス ホスト コントローラ］をダブルクリックします。

②その下にあるIEEE 1394コントローラの名前を確認します。



参考

IEEE 1394コントローラの名前は･･･

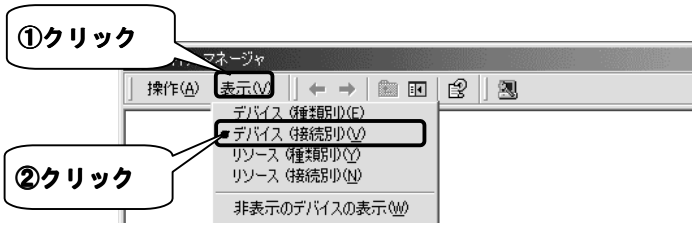
通常、「～IEEE 1394～Controller」という名前になっています。

注意

IEEE 1394コントローラに［!］が付いている

パソコンもしくはIEEE 1394インターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

8 ［表示］→［デバイス(接続別)］を選択します。



9 IEEE 1394コントローラの名前を探します。

手順 7 で確認したIEEE 1394コントローラを探します。

参考

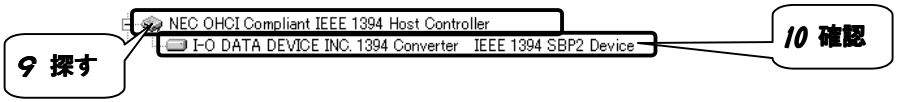
IEEE 1394コントローラの位置は･･･

通常、IEEE 1394コントローラは［PCIバス］の下にあります。

［PCIバス］は、［ACPI(Advanced Configuration and Power Interface) BIOS］または［標準PC］の下にあります。

10 IEEE 1394コントローラの下を確認します。

IEEE 1394コントローラの下にあるドライバを確認します。



注意

［I-O DATA DEVICE INC. 1394 Converter････］に［!］が付いている

【接続する】(31ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

［I-O DATA DEVICE INC. 1394 Converter････］がない

【接続する】(31ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

11 「デバイスマネージャ」を閉じます。

画面右上にある ✕ をクリックします。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
本製品を接続する	本ページ
本製品を取り外す	本ページ
MOディスクの操作	38ページ

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。

1 本製品の電源を入れます。

2 本製品をIEEE 1394ポートに接続します。

本製品を取り外す

操作	
●パソコンの電源を切って取り外す	本ページ
●パソコンの電源を切らずに取り外す	次ページ

●パソコンの電源を切って取り外す

1 本製品からMOディスクを取り出します。
操作は、【●MOディスクを取り出す】(39ページ)をご覧ください。

2 Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。

3 本製品をIEEE 1394ポートから取り外します。

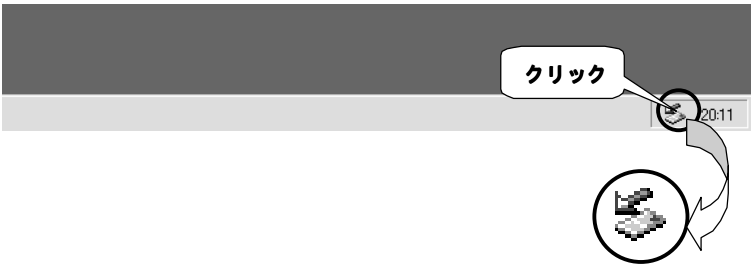
4 本製品の電源を切ります。

●パソコンの電源を切らずに取り外す

1 本製品からMOディスクを取り出します。

操作は、【●MOディスクを取り出す】(39ページ)をご覧ください。

2 タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。



3 表示された［I-O DATA ・・・・］をクリックします。

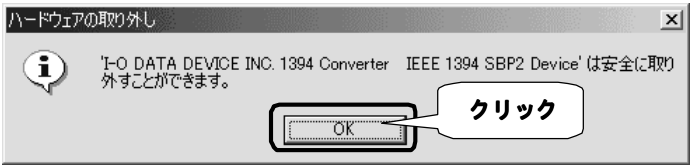
「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された

①使用中のソフトウェアを全て終了します。

②本手順を行います。

※同じメッセージが表示される場合は、前ページの【●パソコンの電源を切って取り外す】の手順を行ってください。

4 ［OK］ボタンをクリックします。



5 本製品をIEEE 1394ポートから取り外します。

6 本製品の電源を切ります。

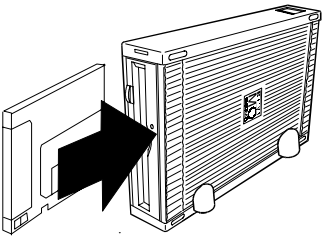
MOディスクの操作

操作	
●MOディスクを挿入する	本ページ
●MOディスクを取り出す	次ページ
●MOディスクをフォーマットする	次ページ

●MOディスクを挿入する

1 MOディスクを挿入します。

MOディスクの表側をアクセスランプに向けてMOディスク挿入口へまっすぐに挿入し、カチッと音がするまで押し込みます。



MOディスクの金属部分を持たないでください
静電気が本製品内部に放電され、故障の原因となります。

2 アクセスランプが点灯後、消灯したことを確認します。

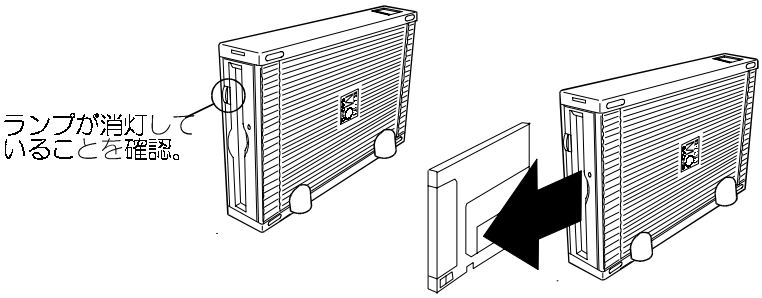
●MOディスクを取り出す

1 本製品のアクセスランプが消灯しているのを確認します。

2 Windows上で［取り出し］をクリックします。

本製品のアイコンを右クリックし、表示された［取り出し］をクリックします。

⇒自動的にMOディスクが出てきます。



MOディスクを取り出せない

【MOディスクを取り出せない】(66ページ)をご覧ください。

●MOディスクをフォーマットする

MOディスクのフォーマットには「MOディスクフォーマッタ」を使います。

次ページの【MOディスクフォーマッタ】をご覧ください。

ユーティリティソフトについて

ここでは、Windows 2000用MOユーティリティソフトについて説明しています。

ユーティリティソフト

ユーティリティソフトは2つです。

ユーティリティソフト	
MOディスクフォーマッタ	本ページ
フォーマット／イジェクト権限変更ツール	43ページ

MOディスクフォーマッタ

「MOディスクフォーマッタ」を使えば、MOディスクをフォーマットできます。

ユーザー権限の場合

パソコンの電源を入れる前に、電源を入れた本製品を接続してください。
フォーマットが正常にできなくなります。
フォーマットができない場合は、一度Administrator権限を持つアカウントでログオンしなおすか、Windowsを再起動してください。

すべてのユーザーで、MOディスクをフォーマットしたい場合は

Windows 2000では、Administrator権限を持つユーザーのみフォーマットすることができます。
【フォーマット／イジェクト権限変更ツール】(43ページ)をご覧になり、権限を［全てのユーザー］に変更してください。

MOディスクに一部読み書きできない不良セクタができた場合は

「MOディスクフォーマッタ」による物理フォーマットをすることにより再び使うことができる場合があります。

●フォーマット方法

1 本製品にMOディスクを挿入します。

2 「MOディスクフォーマッタ」を起動します。

［スタート］→［プログラム］→［MO Utilities］→［MOディスクフォーマッタ］の順にクリックします。

3 本製品を選びます。

本製品の表示

MOA-i1.3：FUJITSU MCE3130AP
MOA-i640：FUJITSU MCF3064AP

4 フォーマット形式を設定します。

フォーマット形式および物理フォーマットするかどうかを設定します。

選択できるフォーマット形式

・フロッピィ形式(FAT16)　・フロッピィ形式(FAT32)
・ハードディスク形式(FAT16)　・ハードディスク形式(FAT32)

通常は、「フロッピィ形式（FAT16）」でフォーマットしてください。

(FAT32)のフォーマット形式でフォーマットしたMOディスク

MS-DOSなどのFAT32に対応していないOSでは読み書きできません。

通常、［物理フォーマット］にチェックは要りません

物理フォーマットには時間がかかります。

5 必要ならば、ボリュームラベルを入力します。

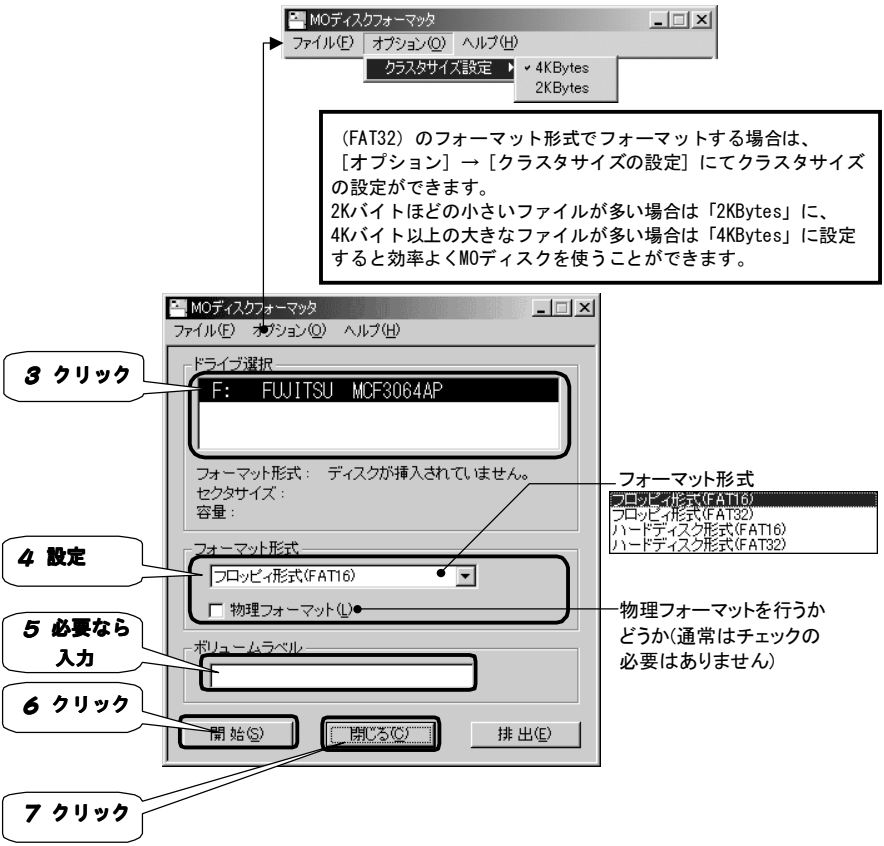
6 ［開始］ボタンをクリックします。

⇒フォーマットが始まります。

7 作業が終わったら、［閉じる］ボタンをクリックします。

⇒フォーマットは終了です。

（FAT32）の場合のみ


MOディスクフォーマッタ
ファイル(F)
オプション(O)
ヘルプ(H)
クラスタサイズ設定
4KBytes
2KBytes
（FAT32）のフォーマット形式でフォーマットする場合は、
［オプション］→［クラスタサイズの設定］にてクラスタサイズの設定ができます。
2Kバイトほどの小さいファイルが多い場合は「2KBytes」に、
4Kバイト以上の大きなファイルが多い場合は「4KBytes」に設定すると効率よくMOディスクを使うことができます。
MOディスクフォーマッタ
ファイル(F)
オプション(O)
ヘルプ(H)
ドライブ選択
F: FUJITSU MCF3064AP
フォーマット形式： ディスクが挿入されていません。
セクタサイズ：
容量：
フォーマット形式
フロッピィ形式(FAT16)
物理フォーマット(L)
ボリュームラベル
開始(S)
閉じる(C)
排出(E)
3 クリック
4 設定
5 必要なら入力
6 クリック
7 クリック
フォーマット形式
フロッピィ形式(FAT16)
フロッピィ形式(FAT32)
ハードディスク形式(FAT16)
ハードディスク形式(FAT32)
物理フォーマットを行うかどうか(通常はチェックの必要はありません)

フォーマット／イジェクト権限変更ツール

Windows 2000では、Administrator権限のユーザーのみがMOディスクをフォーマット／イジェクトできます。しかし、このツールを使えば、Administrator権限を持っていないユーザーでもMOディスクをフォーマット／イジェクトできるようになります。

●権限変更方法

1 Windows 2000にAdministrator権限でログオンします。

2 「フォーマット／イジェクト権限変更ツール」を起動します。

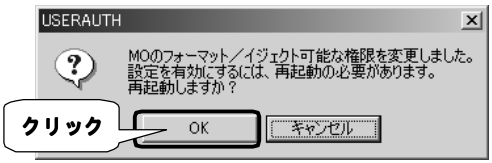
［スタート］→［プログラム］→［MO Utilities］→［フォーマット／イジェクト権限変更ツール］の順にクリックします。

3 権限を変更します。

「グループ」でフォーマット／イジェクトの権限を変更します。
終わりましたら、［OK］ボタンをクリックします。

4 ［OK］ボタンをクリックします。

⇒再起動されます。



Memo

Windows Me/98 SEでお使いの場合

Windows 98 SEをアップデートしよう ・・・・・・・・・・・・・・・４６

本製品を使うために、Windows 98 SEをアップデートします。

使えるようにしよう ・・・・・・・・・・・・・・・４８

はじめて本製品を接続する際の手順について説明します。

基本操作について ・・・・・・・・・・・・・・・５７

本製品を使う上での操作について説明します。

Windows 98 SEをアップデートしよう

本製品を使うために、Windows 98 SEをアップデートします。

この作業を行うと元に戻せません
あらかじめご了承ください。

Windows Meをお使いの方へ
本作業は必要ありません。
【使えるようにしよう】(48ページ)へお進みください。

PCカードなどをお使いの方へ
本作業を行うと、PCカードなどの取り外し方も変わります。
ご注意ください。

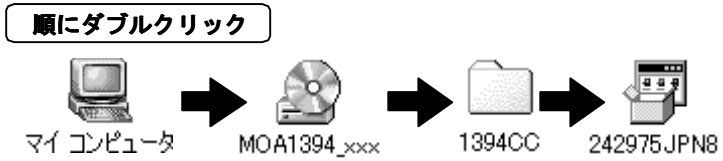
1 「MOA/1394シリーズサポートソフト」を挿入します。

「MOA/1394シリーズサポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。

2 アップデートします。

［マイコンピュータ］→［MOA1394_xxx］→［1394CC］→［242975JPN8］の順にダブルクリックします。

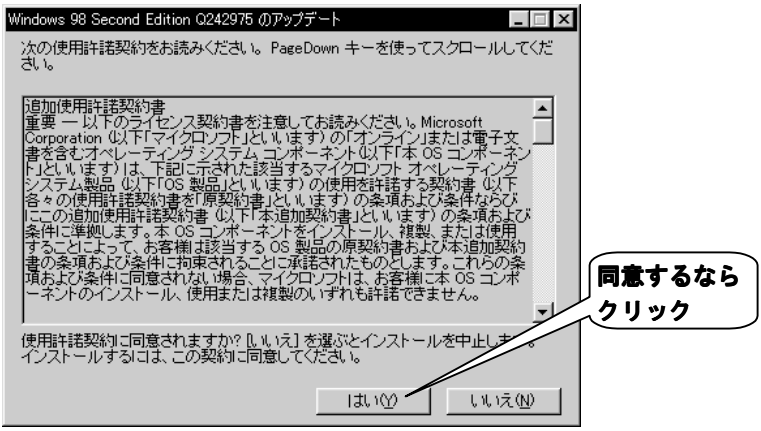
※ xxxには数字が入ります。



3 ［はい］ボタンをクリックします。

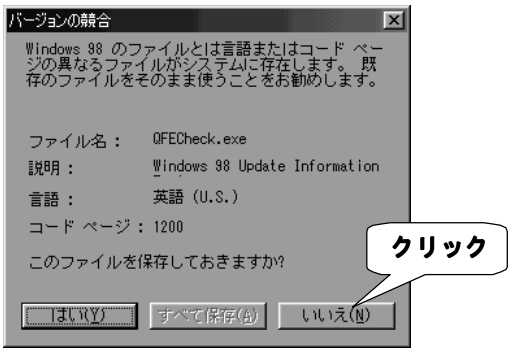
4 内容に同意するなら、［はい］ボタンをクリックします。

使用許諾契約書の内容に同意する場合のみ、［はい］ボタンをクリックします。


Windows 98 Second Edition Q242975 のアップデート
次の使用許諾契約をお読みください。PageDown キーを使ってスクロールしてください。
追加使用許諾契約書
重要 — 以下のライセンス契約書を注意してお読みください。Microsoft Corporation (以下「マイクロソフト」といいます) の「オンライン」または電子文書を含むオペレーティング システム コンポーネント (以下「本 OS コンポーネント」といいます) は、下記に示された該当するマイクロソフト オペレーティング システム製品 (以下「OS 製品」といいます) の使用を許諾する契約書 (以下各々の使用許諾契約書を「原契約書」といいます) の条項および条件ならびにこの追加使用許諾契約書 (以下「本追加契約書」といいます) の条項および条件に準拠します。本 OS コンポーネントをインストール、複製、または使用することによって、お客様は該当する OS 製品の原契約書および本追加契約書の条項および条件に拘束されることに承諾されたものとします。これらの条項および条件に同意されない場合、マイクロソフトは、お客様に本 OS コンポーネントのインストール、使用または複製のいずれも許諾できません。
使用許諾契約に同意されますか? [いいえ] を選ぶとインストールを中止します。
インストールするには、この契約に同意してください。
はい(Y)
いいえ(N)
同意するなら
クリック

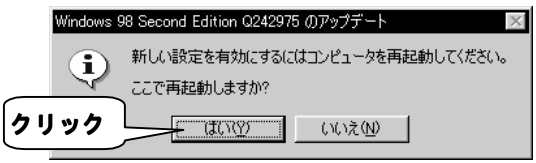
5 この画面が表示される場合があります。

その場合は、［いいえ］ボタンをクリックします。



6 ［はい］ボタンをクリックし、再起動します。

⇒これでWindows 98 SEのアップデートは終了です。



使えるようにしよう

はじめて本製品をIEEE 1394ポートに接続する際の手順について説明します。

1 Windows Me/98を起動します。

パソコンの電源を入れて、Windows Me/98を起動します。

MOドライブを使えるようにする

MOドライブを使えるようにします。

2 SETUPを実行します。

［マイコンピュータ］→［MOA1394_xxx］→［MO］→［SETUP］の順にダブルクリックします。

※ xxxには数字が入ります。

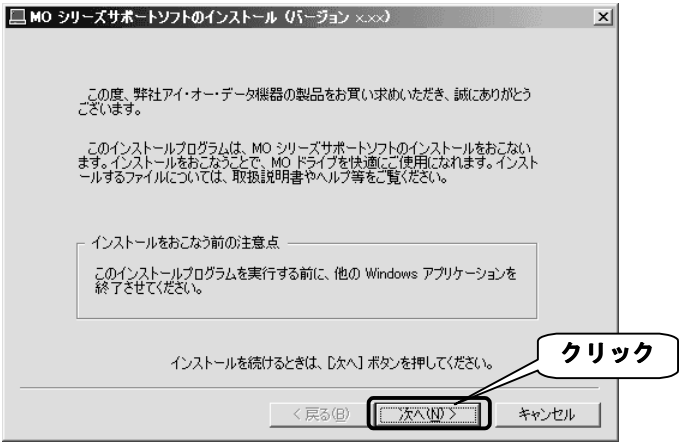
3 Windows Me/98 SEでは、下の画面が表示されます。

［はい］ボタンをクリックします。

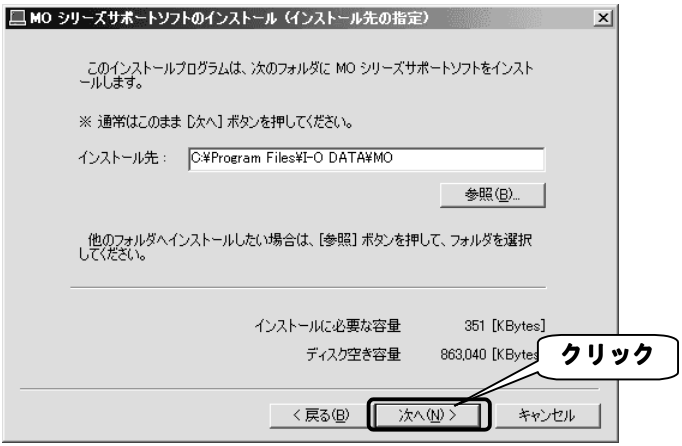
エラー画面が表示された

【Windows 98 SEをアップデートしよう】(46ページ)の作業を行ってください。

4 ［次へ］ボタンをクリックします。



5 ［次へ］ボタンをクリックします。



参考

インストール先のフォルダを替えたい場合

［参照］ボタンをクリックして変更してください。

通常は変更する必要はありません。

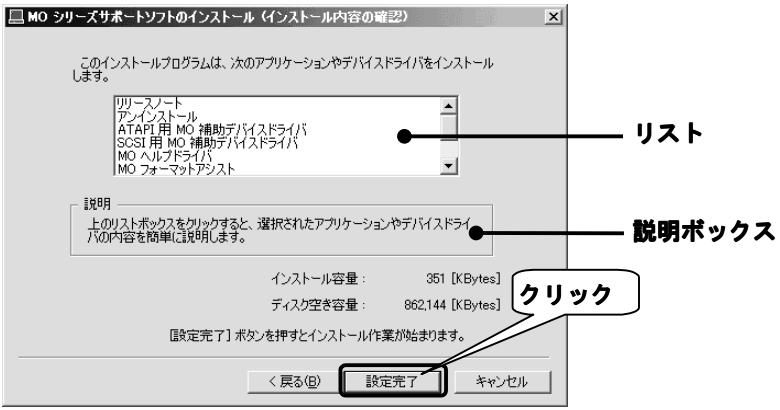
［インストールに必要な容量］について

「インストールに必要な容量」の表示は、お使いのOSによって異なります。

6 下のような画面が表示される場合は･･･

［はい］ボタンをクリックします。

7 ［設定完了］ボタンをクリックします。



［説明］について

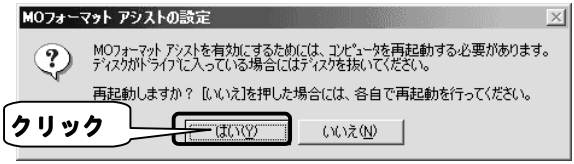
上のリスト内のインストールする項目を選択すると、下の説明ボックス内に選択した項目の説明が表示されます。

8 ［完了］ボタンをクリックします。

9 「MOA/1394シリーズサポートソフト」を抜きます。

10 ［はい］ボタンをクリックします。

⇒パソコンが再起動されます。再起動後に、次の手順にお進みください。

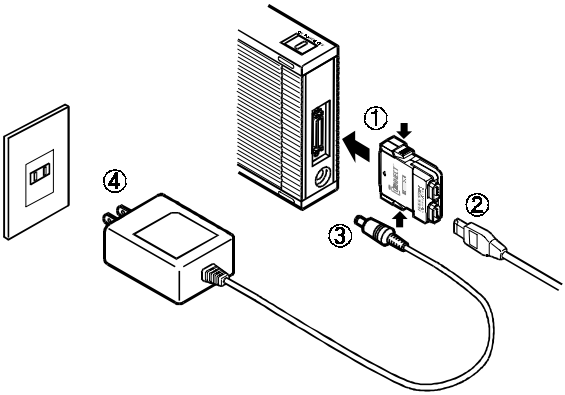


接続する

IEEE 1394ポートへの接続について説明します。

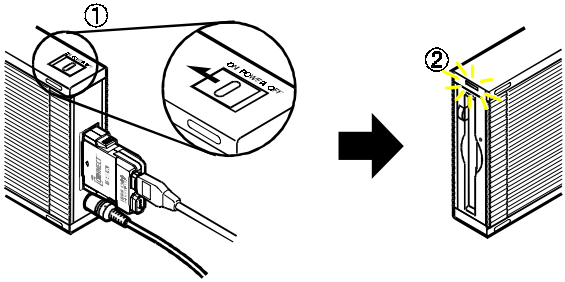
11 MOドライブにケーブル、ACアダプタを接続します。

①i･CONNECT対応コネクタの両脇を押さえながら、MOドライブにまっすぐ差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認します。
②MOドライブに、添付のACアダプタを接続します。
③ACアダプタを電源コンセントに接続します。



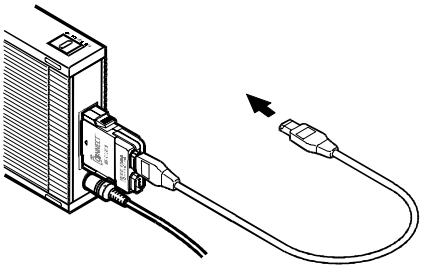
12 本製品の電源を入れます。

①電源スイッチを「ON」側に入れます。
②電源ランプが点灯するのを確認します。



13 本製品をIEEE 1394ポートに接続します。

IEEE 1394ケーブルをIEEE 1394ポートにまっすぐ接続します。
IEEE 1394ポートの場所については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。



以上で、本製品は使えるようになりました。
次は、本製品が使えるか確認しましょう。

確認しよう

ここでは本製品が使えるかどうかを確認します。

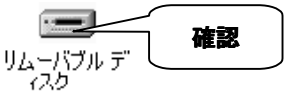
1 本製品にMOディスクを挿入します。

2 本製品のアイコンを確認します。

①［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。

②［マイコンピュータ］の中に［リムーバブルディスク］アイコンがあることを確認します。

⇒これが本製品のアイコンです。



［リムーバブルディスク］アイコンがない

【本製品のアイコンが表示されない】(65ページ)をご覧ください。

複数の［リムーバブルディスク］アイコンがある場合

Windowsでフォーマットされた MOディスクを本製品のみに挿入します。

［リムーバブルディスク］アイコンを順番に開いていき、そのMOディスクの内容が表示されるアイコンが本製品のアイコンです。

3 「システムのプロパティ」を開きます。

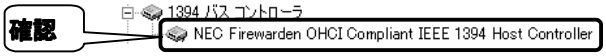
［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

4 ［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

5 ［種類別に表示］を選択します。

6 IEEE 1394コントローラの名前を確認します。

［1394バスコントローラ］の下にあるIEEE 1394コントローラの名前を確認します。



IEEE 1394コントローラの名前は･･･
通常、「～IEEE 1394～Controller」という名前になっています。

IEEE 1394コントローラに［!］が付いている
パソコンもしくはIEEE 1394インターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

7 ［接続別に表示］を選択します。

8 IEEE 1394コントローラの名前を探します。

手順6で確認したIEEE 1394コントローラを探します。

画面例は次ページ

IEEE 1394コントローラの位置は･･･
通常、IEEE 1394コントローラは［PCIバス］の下にあります。
［PCIバス］は、［Advanced Configuration and Power Interface (ACPI) BIOS］または［プラグアンドプレイBIOS］の下にあります。

9 IEEE 1394コントローラの下を確認します。

IEEE 1394コントローラの下にあるドライバを確認します。

例：Windows Meの場合

[SBP2 Compliant IEEE 1394デバイス]に[!]が付いている
パソコンもしくはIEEE 1394インターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

[IEEE 1394光ディスク]に[!]が付いている
【接続する】(52ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

[IEEE 1394光ディスク]の下に何もない
【接続する】(52ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

例：Windows 98 SEの場合

[SBP2 Compliant IEEE 1394デバイス]に[!]が付いている
パソコンもしくはIEEE 1394インターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

[1394/USB光ディスク]に[!]が付いている
【接続する】(52ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

[1394/USB光ディスク]の下に何もない
【接続する】(52ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

10 「デバイスマネージャ」を閉じます。

画面右上にある ✕ をクリックします。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
本製品を接続する	本ページ
本製品を取り外す	本ページ
MOディスクの操作	59ページ

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。

1 本製品の電源を入れます。

2 本製品をIEEE 1394ポートに接続します。

本製品を取り外す

操作	
●パソコンの電源を切って取り外す	本ページ
●パソコンの電源を切らずに取り外す	次ページ

●パソコンの電源を切って取り外す

1 本製品からMOディスクを取り出します。

操作は、【●MOディスクを取り出す】(60ページ)をご覧ください。

2 Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。

3 本製品をIEEE 1394ポートから取り外します。

4 本製品の電源を切ります。

●パソコンの電源を切らずに取り外す

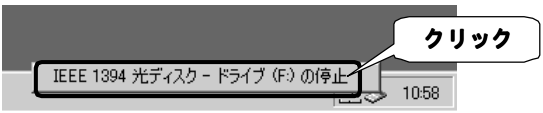
1 本製品からMOディスクを取り出します。

操作は、【●MOディスクを取り出す】(60ページ)をご覧ください。

2 タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。

3 表示された本製品をクリックします。

本製品は、［光ディスク］を含んで表示されます。
複数の［光ディスク］を接続している場合は、［光ディスク］の後に表示されるドライブ文字にて区別します。



「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された

①使用中のソフトウェアを全て終了します。
②本手順を行います。
※同じメッセージが表示されたら、【●パソコンの電源を切って取り外す】(57ページ)の手順を行ってください。

表示について

Windows MeとWindows 98 SEでは表示が多少異なります。
手順は全く変わりませんので、そのまま作業を行ってください。

4 ［OK］ボタンをクリックします。

5 本製品をIEEE 1394ポートから取り外します。

6 本製品の電源を切ります。

MOディスクの操作

操作	
●MOディスクを挿入する	本ページ
●MOディスクを取り出す	次ページ
●MOディスクをフォーマットする	61ページ

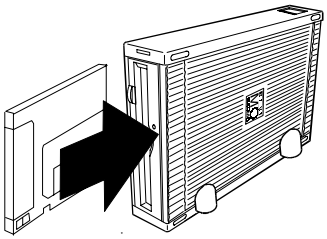
●MOディスクを挿入する

1 MOディスクを挿入します。

MOディスクの表側をアクセスランプに向けてMOディスク挿入口へまっすぐに挿入し、カチッと音がするまで押し込みます。

MOディスクの金属部分を持たないでください
静電気が本製品内部に放電され、故障の原因となります。

2 アクセスランプが点灯後、消灯したことを確認します。



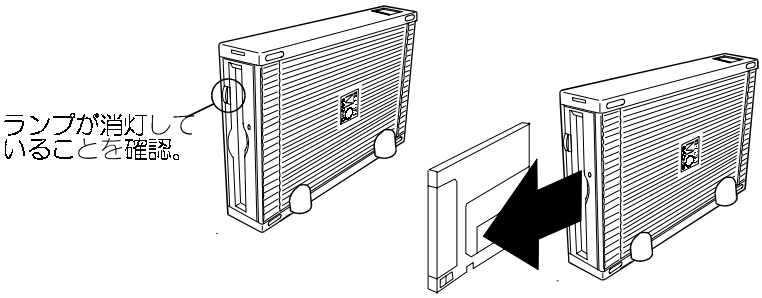
●MOディスクを取り出す

1 本製品のアクセスランプが消灯しているのを確認します。

2 Windows上で［取り出し］をクリックします。

本製品のアイコンを右クリックし、表示された［取り出し］をクリックします。

⇒自動的にMOディスクが出てきます。



MOディスクを取り出せない

【MOディスクを取り出せない】(66ページ)をご覧ください。

●MOディスクをフォーマットする

Mac OSとデータを交換するためのフォーマットについて
【Windows Me/98とMac OSでデータ交換しよう】(85ページ)をご覧ください。

MOディスクに一部読み書きできない不良セクタができた場合
そのMOディスクをそれ以上使わないでください。
ただし、SCSI MOドライブか、Windows 2000の「MOディスクフォーマッタ」にて、そのMOディスクを物理フォーマットすることにより再び使うことができる場合があります。

1 本製品にMOディスクを挿入します。

操作は、【●MOディスクを挿入する】(59ページ)をご覧ください。

いきなり手順3の画面になることがあります。
その場合は、手順３にお進みください。

2 [MOフォーマット]を起動します。

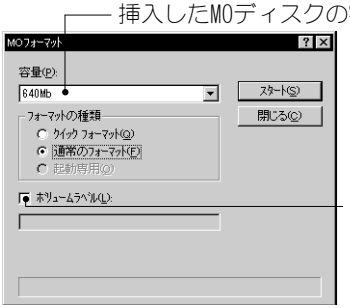
「マイコンピュータ」内の［リムーバブルディスク］アイコンを右クリックし、表示された「MOフォーマット」をクリックします。

[MOフォーマット]が表示されない
【「MOフォーマット」が表示されない】(70ページ)をご覧ください。

[MOフォーマット]と［フォーマット］が同時に表示される場合
問題無くお使いいただけます。［MOフォーマット］をクリックしてください。
［フォーマット］では、フォーマットしないでください。

3 設定を選び、[スタート]ボタンをクリックします。

MOディスクに保存されているファイルは、すべて消去されます。



・クイックフォーマット（通常のフォーマットより早い）

一度フォーマットしたことのあるMOディスクの場合に選択します。
MOディスクが損傷している可能性がある場合は、クイック
フォーマットを選択しないでください。

・通常のフォーマット

購入直後のMOディスクなどをフォーマットする時に選択します。

・起動専用

選択しないでください。
本製品（に挿入したMOディスク）から起動することはできません。

4 フォーマット後、［閉じる］をクリックします。

フォーマットが終了すると、MOディスクが取り出され、フォーマット結果が表示されます。

確認後、［閉じる］をクリックしてください。

5 ［閉じる］ボタンをクリックします。

フォーマット後は

フォーマット後のMOディスクは一度「スキャンディスク」をかけることをお勧めします。

付録

困った時には ・・・・・・・・・・・・・・・６４

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

サポートソフトの削除 ・・・・・・・・・・・・・・・７７

サポートソフトの削除方法を説明します。

B'sCrew FWでの初期化 ・・・・・・・・・・・・・・・８２

B'sCrew FWを使った初期化について説明します。

RINGOWIN LEについて ・・・・・・・・・・・・・・・８４

RINGOWIN LEについて説明します。

Windows Me/98とMac OSでデータ交換しよう ・・・・・・・・・・・・・・・８５

Windows Me/98とMac OSでデータを交換する方法を説明しています。

用語解説 ・・・・・・・・・・・・・・・９１

本書内の用語を説明します。

ハードウェア仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・９２

本製品の仕様を説明します。

困った時には

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

共通のトラブル

本製品のアイコンが表示されない	６５
MOディスクの読み書き中にデータエラーが発生する	
フォーマットや書き込み中に処理が中断される	６６
MOディスクにファイルの書き込みができない	
MOディスクを取り出せない	

Windows 2000でのトラブル

「ドライブのロックに失敗しました」と表示される	６７
Administrator権限以外のユーザーでお使いの場合、MOディスクのフォーマットや取り出しができない	
NTFS形式のMOディスクを読み書きできない	６８
アクセスランプが点灯していないのにエラー画面が表示される	

Windows Me/98 SEでのトラブル

ファイルの読み書きができない	６９
MOディスクにスキャンディスクを実行するとエラーが出る	
十分な空き容量があるのに書き込みができない	７０
「MOフォーマット」が表示されない	
本製品を接続すると青い画面になり、パソコンが動かない	７１

Mac OS 8/9でのトラブル

「タイプ -110エラー」のウィンドウが表示される	７３
640Mバイトの MOディスクを「検証」したらエラー報告された	
本製品に挿入したMOディスクからMac OSを起動できない	
MOディスクを初期化できない	
データの入ったMOディスクを入れても初期化ウィンドウが出る	７４
「FireWireディスクから応答がありません」と表示される	

共通のトラブル

本製品のアイコンが表示されない

原因1 **「更新」されていない(Windowsのみ)**

［マイコンピュータ］の［表示］→［最新の情報に更新］をクリックしてください。

原因2 **MOディスクが挿入されていない(Mac OSのみ)**

MOディスクを挿入してください。(24ページ参照)

原因3 **接続するIEEE 1394ポートによっては認識されない**

接続するIEEE 1394ポートを変えてください。

原因4 **正常に認識されていない**

【確認しよう】(21, 33, 54ページ)をご覧になり、正常認識されているか確認してください。

原因5 **ドライブが割り当てられていない(Windows Me/98 SE)**

【ドライブ名の予約】(72ページ)をご覧ください。

原因6 **機能拡張が競合している(Mac OS 8/9のみ)**

【機能拡張の競合解消方法】(75ページ)をご覧ください。

MOディスクの読み書き中にデータエラーが発生する

原因 **本製品のヘッドが汚れている**

【注意事項】(5ページ)をご覧になり、本製品のヘッドをクリーニングしてください。

フォーマットや書き込み中に処理が中断される

原因 **長時間使うことで高温になり、安全装置が働いた**

システムを終了してパソコンの電源を切り、MOドライブが冷えるまでしばらくお待ちください。

MOディスクにファイルの書き込みができない

原因 **MOディスクがライトプロテクトされている**

MOディスクのライトプロテクトを解除してから、ファイルを書き込んでください。ライトプロテクトについては、MOディスクの説明をご覧ください。

MOディスクを取り出せない

原因1 **パソコンの電源が入っていない(Mac OSのみ)**

パソコンの電源を入れた状態で、MOディスクを取り出してください。

原因2 **機械的な故障や、その他の理由で取り出せない**

パソコンの電源を切ってから、MOドライブの電源を切ります。
添付の強制イジェクト・ピンを強制イジェクト・ホールに約25㎜ほど差し込むとイジェクトします。

※ これは、緊急時の操作です。
むやみに使うと故障の原因となります。
この操作で取り出せない場合は、無理に引き出さず、弊社修理係にご依頼ください。

Windows 2000でのトラブル

「ドライブのロックに失敗しました」と表示される

原因 **MOディスク内のファイルを開いている**

「MOディスクフォーマッタ」の作業時に、他のアプリケーションでMOディスク内のファイルを開いていたり、「エクスプローラ」でMOディスク内を開いていると、このエラーが表示されます。MOディスク内を開いているすべてのアプリケーションを終了し、もう一度フォーマットしてください。

Administrator権限以外のユーザーでお使いの場合、MOディスクのフォーマットや取り出しができない

原因１ **「フォーマット／イジェクト権限変更ツール」で権限を「全てのユーザー」にしていない**

Windows 2000は、そのままではAdministrator権限以外のユーザーにてMOディスクのフォーマットや取り出しをすることはできません。

【フォーマット／イジェクト権限変更ツール】
(43ページ)をご覧になり、権限を「全てのユーザー」にしてください。

原因２ **本製品を接続したまま起動していない**

MOディスクをフォーマットしたり、取り出したい場合は、必ず電源の入った本製品を、USBポートに接続した後でWindows 2000を起動してください。

また、この方法でWindows 2000を起動しても一度本製品をUSBポートから取り外し、再び接続した場合はMOディスクをフォーマットしたり取り出したりすることはできません。その際は、本製品を接続したまま、Windows 2000を再起動してください。

NTFS形式のMOディスクを読み書きできない

原因 **MOディスクがライトプロテクト状態になっている**

他のMOドライブなどで作ったNTFS形式のMOディスクをお使いになる場合は、ライトプロテクトノッチを書き込み許可にしてください。

アクセスランプが点灯していないのにエラー画面が表示される

原因 **「MOディスクフォーマッタ」で物理フォーマットしたか、フォーマット後すぐに本製品を取り外した**

本製品を取り外すとき、本製品のアクセスランプが点灯していないのに、手順 *1* の画面が表示された場合は、以下の手順で取り外せます。

1 **[OK] ボタンをクリックします。**

2 **Windows 2000を再起動します。**

3 **IEEE 1394ポートから本製品を取り外します。**

【基本操作について】(36ページ)をご覧ください。

Windows Me/98 SEでのトラブル

ファイルの読み書きができない

原因 **MOディスクのフォーマット形式が異なっている**

1)MOディスク内のデータが必要ない場合は、【●MOディスクをフォーマットする】(61ページ)の手順でフォーマットしてお使いください。（データは全て無くなります）

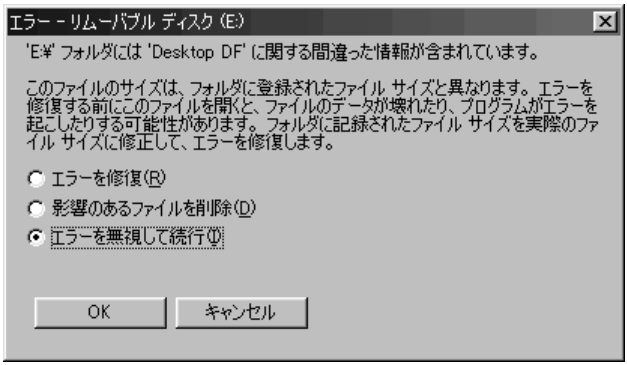
2)Macintoshのフォーマット形式の場合は、「RINGOWIN LE」を使ってください。

※ ただし、Mac OSで本製品を使ってフォーマットしたMOディスクは「RINGOWIN LE」では認識できません。

MOディスクにスキャンディスクを実行するとエラーが出る

原因 **そのMOディスクを一度Macintoshで使っている**

一度、Mac上にマウントしたDOSフォーマット(IBM,もしくはFDISK)のMOディスクをWindows 98上でスキャンディスクを実行した場合、次のようなエラーが表示される場合があります（ファイル「Desktop DF」は、Mac OS上で管理に必要な情報が含まれたファイルです）。この場合は、「エラーを無視して続行」を選んでください。



十分な空き容量があるのに書き込みができない

原因

ルートフォルダに置くことの出来るファイル数を超えている

ルートフォルダ（MOディスクの一番上）に置くことの出来るファイル（フォルダ）の数には制限があります。制限を超えると空き容量があってもエラーが表示され、書き込む事が出来なくなることがあります。

その場合は、フォルダを作成し、その中にファイルを書き込んでください。フォルダが作成できない場合は、ファイルをいくつか削除した後、フォルダの作成を行ってください。

作成されたフォルダ内ではファイル数の制限はありません。

「MOフォーマット」が表示されない

原因

MOドライブのインストールが正しく行われていないか、設定が正しくない

［スタート］→［プログラム］→［MOシリーズサポートソフト］があるかどうか、確認します。

無い場合は、【使えるようにしよう】(48ページ)を行います。

ある場合は、さらにその先の［MOフォーマットアシストの設定］をクリックし、「MOフォーマットアシストを有効」にします。

すでに「MOフォーマットアシストを有効」になっていた場合は、【サポートソフトの削除】(77ページ)の作業を行い、その後、もう一度【使えるようにしよう】(48ページ)を行ってください。

本製品を接続すると青い画面になり、パソコンが動かない

原因 本製品が使えるようになっていない

1 **パソコンに接続している全てのUSB機器を取り外します。**

全てのUSB機器（キーボード、マウスを除く）を取り外します。

2 **パソコンを再起動します。**

パソコンのリセットボタンか電源ボタンを使って、再起動します。

3 **本製品を使えるようにします。**

【使えるようにしよう】(48ページ)の手順を行ってください。

ドライブ名の予約

1 「MOドライブのドライバ」をダブルクリックします。

【確認しよう】(54ページ) をご覧になり、［1394/USBディスク］の下にある「MOドライブのドライバ」をダブルクリックします。

「MOドライブのドライバ」の表示

MOA-i1.3：FUJITSU MCE3130AP
MOA-i640：FUJITSU MCF3064AP

2 ［設定］タブをクリックします。

3 「予約ドライブ文字」を設定します。

［開始ドライブ］と「終了ドライブ」に、使っていない同じドライブ名を入力します。

4 ［OK］ボタンをクリックします。

5 ［OK］ボタンをクリックします。

6 Windowsを再起動します。

Mac OS 8/9でのトラブル

「タイプ -110エラー」のウィンドウが表示される

原因 DOSフォーマットのMOディスクを読み書きした

MacintoshでDOSフォーマット（スーパーフロッピー形式もしくはFDISK形式）のMOディスクを読み書きしたときにタイプ-110エラーが出る場合があります。
このエラーはファイルのデータを破壊するものではありません。
表示された場合は、再度ファイル操作をやり直してください。

640MバイトのMOディスクを「検証」したらエラー報告された

原因 Mac OSの仕様のため

640MB MOディスク上のボリュームに対してDisk First Aidを起動し、「検証」を実行した場合、エラーレポートが報告される場合がありますが、問題なく使えます。

本製品に挿入したMOディスクからMac OSを起動できない

原因 Mac OSではFireWire機器からの起動はできない

MOディスクを初期化できない

原因 AppleTalkが「使用」状態で、ファイル共有が「開始」されている

この場合は、一時的に[Appleメニュー]-[セレクタ]を開き、AppleTalkを「不使用」にするか、[アップルメニュー]-[コントロールパネル]-[ファイル共有]コントロールパネルを開き、ファイル共有を「中止」にした上で初期化を行ってください。

データの入ったMOディスクを入れても初期化ウィンドウが出る

原因1 File Exchangeが「有効」になっていない

［Appleメニュー］→［コントロールパネル］→［機能拡張マネージャ］をクリックします。
「File Exchange」に「×」をつけて、再起動してください。

原因2 認識できないフォーマット形式である

そのMOディスクを読み出せる環境があれば、その環境でバックアップをし、その後、MOディスクを初期化しなおしてください。

「FireWireディスクから応答がありません」と表示される

原因 スリープからの復帰時に表示されることがある

使用には問題ありません。
しばらくすると消えますので、そのままお使いください。

機能拡張の競合解消方法

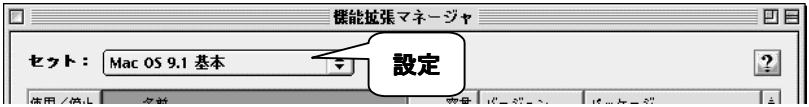
これはMac OS 9.1での手順です。
他のMac OSでは手順や表示が多少異なる場合があります。

1 「機能拡張マネージャ」を開きます。

［アップルメニュー］→［コントロールパネル］→［機能拡張マネージャ］をクリックします。

2 ［セット］を［Mac OS xx 基本］に設定します。

※ xxにはMac OSのバージョンが入ります。



3 ［セットの複製］ボタンをクリックします。

⇒［セット］が［Mac OS xx 基本のコピー］になります。

4 ［B'sCrew FW Driver］に［×］を付けます。

5 ［再起動］ボタンをクリックします。

⇒Mac OSが再起動します。

6 本製品の動作を確認します。

本製品のアイコンが画面に表示されることを確認します。
また、他の周辺機器やソフトウェアが動作することもご確認ください。
動作しない場合は、それぞれ再インストールしてください。

サポートソフトの削除

サポートソフトの削除方法について説明します。

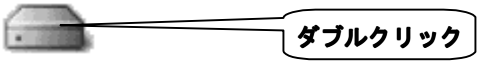
Mac OS 8/9の場合

1 本製品をIEEE 1394ポートから取り外します。

【本製品を取り外す】(23ページ)を参照してください。

2 「起動ボリューム」を開きます。

「起動ボリューム」のアイコンをダブルクリックします。



3 [B'sCrew FW] フォルダを削除します。

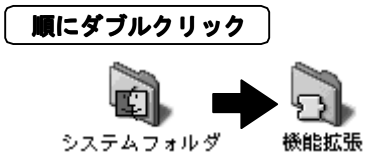
「起動ボリューム」の中にある［B'sCrew FW］フォルダを削除します。

削除の仕方

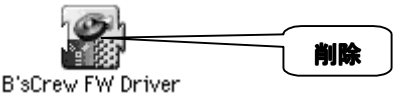
削除したいアイコンをクリックしたまま、ゴミ箱に移動します。
ゴミ箱の上に来たら、マウスのボタンを離します。

4 [機能拡張] を開きます。

［システムフォルダ］→［機能拡張］の順にダブルクリックします。

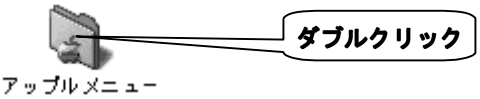


5 ［B'sCrew FW Driver］を削除します。



6 「アップルメニュー」を開きます。

［システムフォルダ］の中にある［アップルメニュー］アイコンをダブルクリックします。



7 ［B'sCrew FW］のエイリアスを削除します。

8 パソコンを再起動し、「ゴミ箱を空に」します。

これでサポートソフトの削除は完了です。

Windows 2000の場合

1 パソコンの電源を切り、本製品を取り外します。

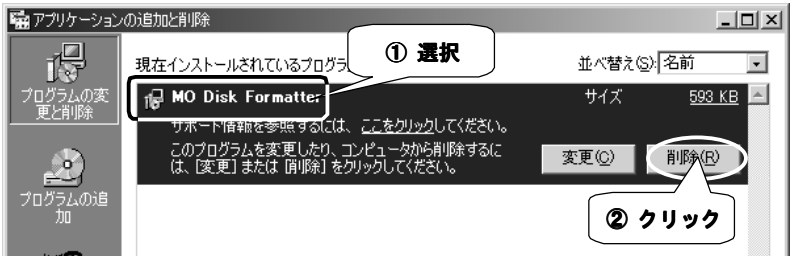
2 Administrator権限を持つユーザーでログオンします。

3 ［アプリケーションの追加と削除］を起動します。

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］の順にクリックします。表示された「コントロールパネル」内の［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

4 ［MO Disk Formatter］を指定します。

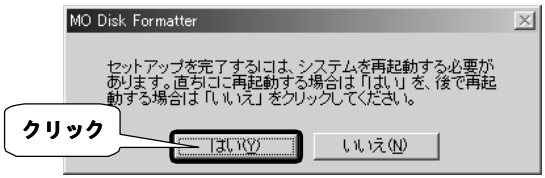
［MO Disk Formatter］を選択し、［削除］ボタンをクリックします。



5 ［はい］ボタンをクリックします。

6 ［はい］ボタンをクリックします。

⇒再起動されます。



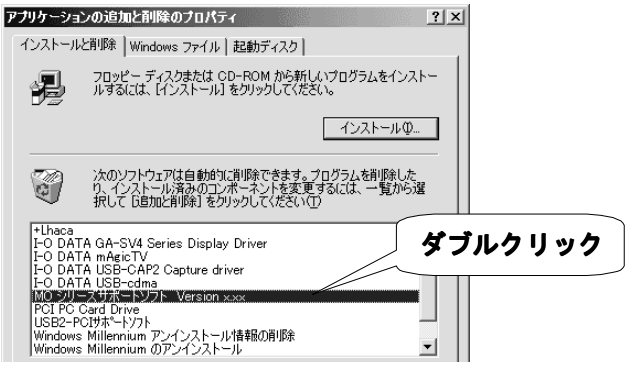
これで「MOドライブの情報」の削除は完了です。

Windows Me/98 SEの場合

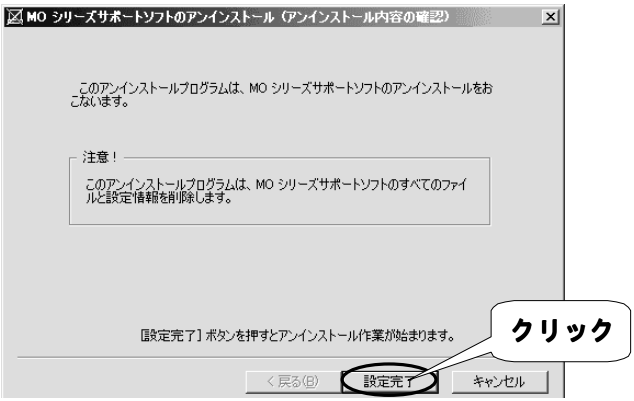
1 ［アプリケーションの追加と削除］を起動します。

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］→［アプリケーションの追加と削除］を起動します。

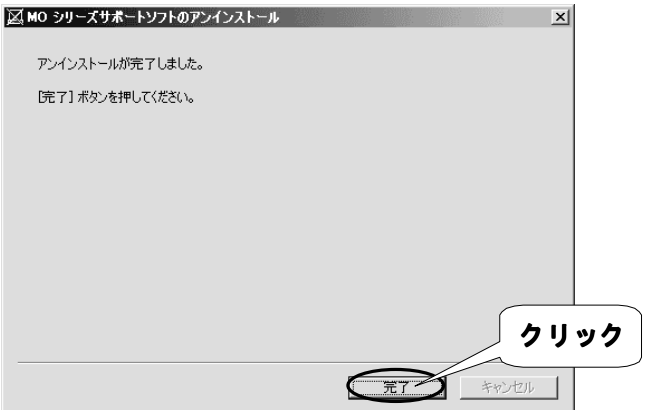
2 「MOシリーズサポートソフト」をダブルクリックします。



3 ［設定完了］ボタンをクリックします。

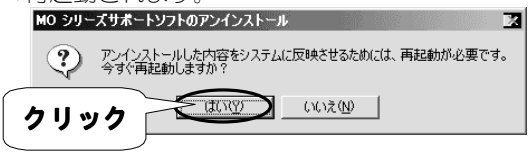


4 ［完了］ボタンをクリックします。



5 ［はい］ボタンをクリックします。

⇒再起動されます。



これで「MOドライブの情報」の削除は完了です。

B'sCrew FWでの初期化

B'sCrew FWを使った初期化について説明します。

「B'sCrew FW」について詳しくは
「MOA/1394シリーズサポートソフト」の［1394CC］→［ユーザーズマニュアル］→［B'sCrew FW User's Manual.pdf］をご覧ください。
※表示できない場合は、「Adobe Acrobat Reader」を入れてください。

1 本製品以外の全てのFireWire機器を取り外します。

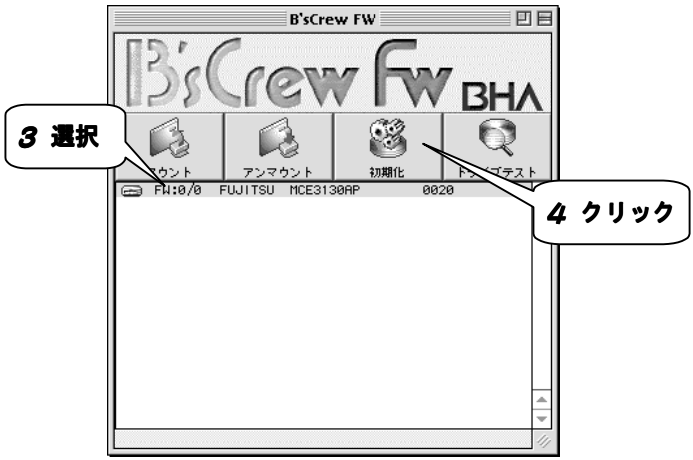
2 「B'sCrew FW」を起動します。

メニューの中の［B'sCrew FW］をクリックします。

3 ドライブを選択します。

ドライブが1つだけ表示されているので、それを選択します。

4 ［初期化］ボタンをクリックします。

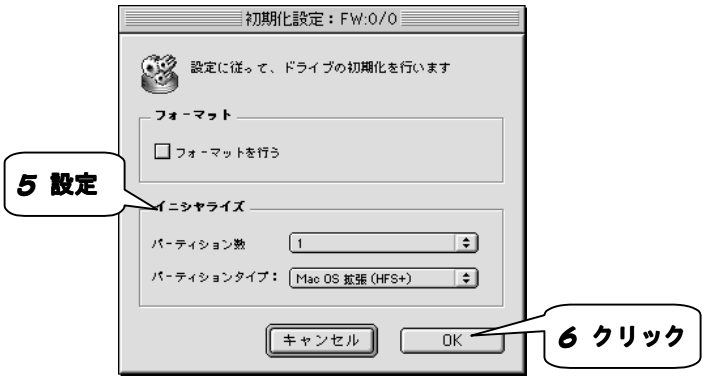


5 ［イニシャライズ］の設定をします。

［パーティション数］と［パーティションタイプ］を決めます。

［パーティションタイプ］の選択について
［Mac OS標準］を選択することをおすすめします。

6 [OK] ボタンをクリックします。



[フォーマットを行う] にチェックを付けた場合

初期化にとても時間がかかります。（640MバイトのMOディスクで10分以上）
また、作業が終わるまでは画面が止まり、パソコンの操作はできなくなります。（作業が終われば元に戻ります。）

7 [OK] ボタンをクリックします。

8 [OK] ボタンをクリックします。

RINGOWIN LEについて

RINGOWIN LEについて説明します。

RINGOWIN LEとは?

Windows側でMacintoshフォーマットの MOディスクを読み取ったり、Macintosh フォーマットのMOディスクを作成できるWindows Me/98用ソフトウェアです。
これがあれば、WindowsでMac OSのデータを受け取ったり、Windowsのデータを変換して、Mac OSに渡すことができます。

RINGOWIN LEのインストール

本製品に添付のCD-ROMのRINGOWINフォルダ内にある「SETUP」を実行します。
詳細については、オンラインマニュアルをご覧ください。

オンラインマニュアルについて

・オンラインマニュアルは、添付のCD-ROMのルートフォルダ内にある RINGOWIN（テキスト形式）やRWLE_1、RWLE_2、RWLE_3（WORD形式）です。
・WORD形式のオンラインマニュアルで、画面データなどが見づらい場合は、表示倍率を上げて（拡大して）ご覧ください。

RINGOWIN LEの使い方

本製品に添付のCD-ROMに、「RINGOWIN LE」のプログラム本体とオンラインマニュアルが入っています。
インストール方法や使用方法の詳細は、添付のCD-ROMのルートフォルダ内にあるオンラインマニュアルをご覧になるか、実行中にヘルプを参照してください。

RINGOWIN LEを使ったデータ交換について

【Windows Me/98とMac OSでデータ交換しよう】(次ページ)をご覧ください。

1.3GバイトのMOディスクについて

RINGOWIN LEは1.3GバイトのMOディスクに対応しておりません。

Windows Me/98とMac OSでデータ交換しよう

Mac OSとWindows Me/98とでデータを交換する方法について説明しています。

データ交換の方法

MOディスクを下記の方法でフォーマットすることで、両方のOSで読み書きできるようにします。

MOディスクのフォーマット

●128～540Mバイト のMOディスク

Windowsでフォーマットした MOディスク（スーパーフロッピー形式）をお使いください。

●640Mバイト のMOディスク

Windows上で「RINGOWIN LE」を使って、「Macintoshフォーマット」でフォーマットしたMOディスクをお使いください。

Mac OSで頻繁に使うMOディスクは

容量にかかわらず「RINGOWIN LE」を使ってフォーマットすることをおすすめします。
ただし、「Mac & Windows 混在フォーマット(RINGOWIN フォーマット)」ではお使いいただけません。

1.3Gバイト のMOディスクについて

RINGOWIN LEは1.3Gバイト のMOディスクに対応しておりません。

DOS形式について

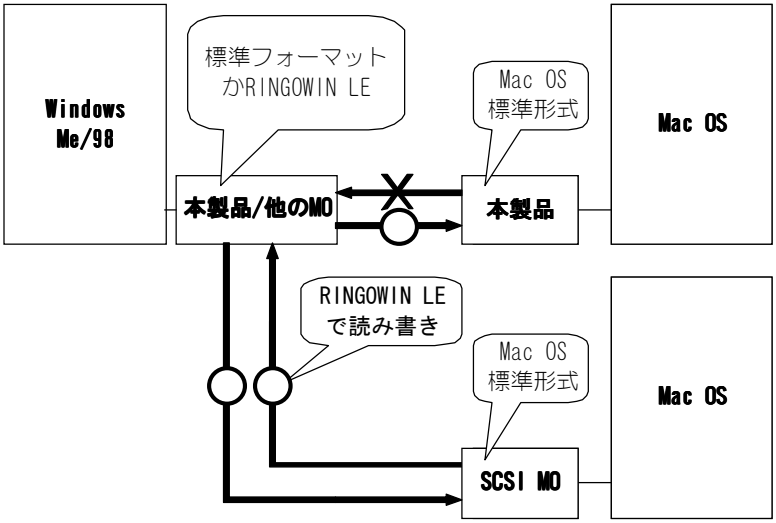
Mac OSにてDOS形式の初期化を行うことはおすすめいたしません。
Windowsにてフォーマットを行ってください。

ソフトウェアのデータについて

ソフトウェアのデータのMac OS/Windows間互換については、データを生成したソフトウェアのメーカーにお問い合わせください。

参考

●読み書き可能なフォーマット形式、MOドライブ相関表



●Mac OS上で初期化可能なフォーマット形式、相関表

		選択可能なフォーマット形式		
		Mac OS標準	Mac OS拡張	DOS
挿入したMOディスクのフォーマット形式	未フォーマット	○	○	△
	Mac OS標準	○	○	×
	Mac OS拡張	○	○	×
	スーパーフロッピー形式※	○	○	△
	FDISK形式※	×	×	△

※ File Exchangeが有効であること

参考

記号の説明
○·····可
×·····不可
△·····可だが、おすすめしない

IEEE 1394について

IEEE 1394について説明します。

IEEE 1394(アイトリプルイー イチサンキューヨン)とは？

パソコン周辺機器の高速データ転送用の技術としてApple Computer, Inc.で開発が始まり、IEEE(米国電気電子技術者協会)により正式規格として制定された規格。
その規格番号から一般的にIEEE 1394と呼ばれる。
FireWireやi.LINKなどもその一種。
ソニー株式会社がデジタルビデオカメラのインターフェイスとして採用したことで家電業界を中心に普及が進んでいる。

FireWire(ファイヤーワイヤー)とは？

IEEE 1394のベースになった規格。
Apple Computer,Inc.とTexas Instruments社で提唱された。

i.LINK(アイリンク)とは？

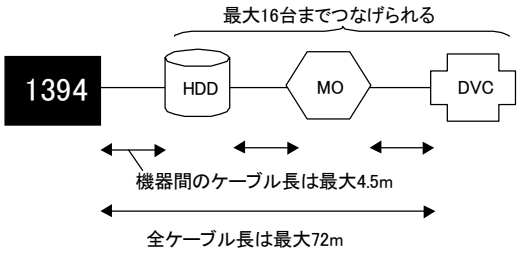
IEEE 1394を本格的に普及させるために、ソニー株式会社が提唱する呼称。

IEEE 1394機器の接続方法

●正しい接続方法

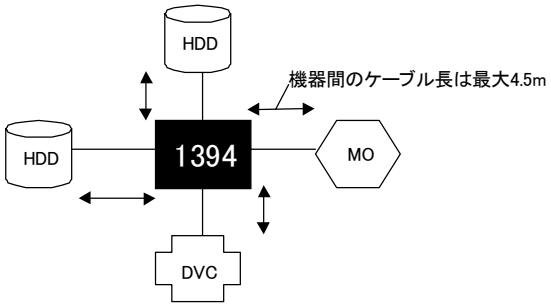
・デイジーチェーン

機器同士を、じゅず状につなげる方法。



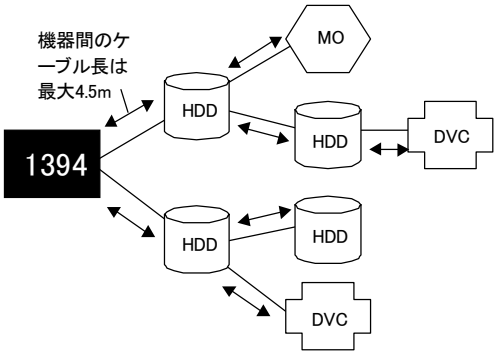
・スター

IEEE 1394インターフェイスを中心にスター(星)状につなげる方法。



・ツリー

各機器から枝別れさせてつなげる方法。



参考

記号の説明

1394 IEEE 1394ポート搭載パソコン

HDD ハードディスク

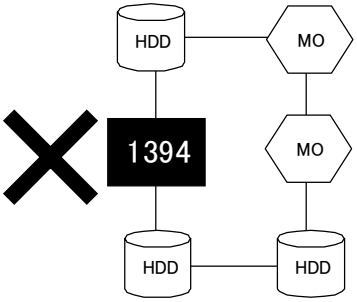
MO MOドライブ

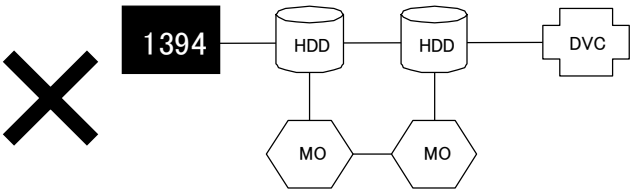
DVC DVC（デジタルビデオカメラ）

●誤った接続方法

・ループ接続

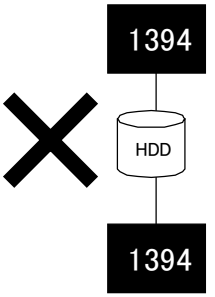
IEEE 1394インターフェイスおよび機器間をループ状につなげる方法。

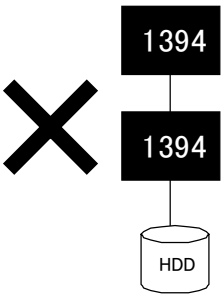




・共有接続

複数のパソコンで機器を共有するようにつなげる方法。





IEEE 1394機器の接続可能台数

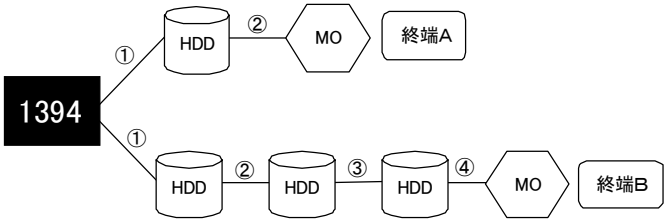
IEEE 1394ポートには最大63台のIEEE 1394機器を接続できます。

ただし、Windows側の制限などによって全ての機器を遣うことはできません。

IEEE 1394ケーブルの最大本数

IEEE 1394インターフェイスと終端のIEEE 1394機器の間に最大16本のケーブルを使うことができます。

下の図では、終端Aまでは2本、終端Bまでは4本のケーブルを使っています。



複数のIEEE 1394機器の取り外し

複数のIEEE 1394機器を連続して接続している場合は、終端より順に取り外してください。

用語解説

i･CONNECT［アイコネクト］

内蔵型の各種IDE/ATAPIドライブを外付型デバイスとして幅広く活用するためにアイ・オーが考案した接続用コネクタ規格。
i･CONNECT搭載ドライブは、i･CONNECT対応オプションと接続することにより「USB」接続、「IEEE1394(FireWire,i.LINK)」接続または「PCカード」接続ドライブとして使える。

※本製品は、「MOA-iシリーズ（i･CONNECT搭載MOドライブ）」と、「IEEE 1394コンバータ＆ケーブル」のセット品です。
MOA-iシリーズは、i･CONNECT対応オプション（USB-iCNなど）と接続して、他のインターフェイスに対応したドライブとしてもお使いいただけます。

フォーマット

MOディスクを使えるようにするために必要な作業。
他に、初期化などと呼ぶこともある。

ハードウェア仕様

●MOA-i1.3

インターフェイス	i･CONNECT
使用可能MOディスク	128M/230M※/540M※/640M※/1.3Gバイト ※オーバーライト対応ディスクを含む
セクタサイズ	・128/230/540Mバイトの MOディスクは512バイト ・640M/1.3GバイトのMOディスクは2048バイト
シークタイム(平均)	28msec
MOディスク回転数	・128/230/540/640Mバイトの MOディスクは4500rpm ・1.3GバイトのMOディスクは3214rpm
データ転送速度(最大)	5.92Mバイト/Sec
バッファサイズ	2Mバイト
動作温度	+5～+35℃（パソコンの動作する範囲であること）
動作湿度	20～80%（ただし結露なきこと）
電源	ACアダプタ　DC +5.0V,2.2A
本体サイズ	117(W) × 187(D) × 33(H)mm
質量	約850g

●MOA-i640

インターフェイス	i･CONNECT
使用可能MOディスク	128M/230M※/540M※/640M※バイト ※オーバーライト対応ディスクを含む
セクタサイズ	・128/230/540Mバイトの MOディスクは512バイト ・640MバイトのMOディスクは2048バイト
シークタイム(平均)	28msec
MOディスク回転数	3600rpm
データ転送速度(最大)	3.92Mバイト/Sec
バッファサイズ	512Kバイト
動作温度	+5～+35℃（パソコンの動作する範囲であること）
動作湿度	20～80%（ただし結露なきこと）
電源	ACアダプタ　DC +5.0V,2.2A
本体サイズ	117(W) × 187(D) × 33(H)mm
質量	約850g

●IEEE 1394コンバータ

対応規格	i・CONNECTおよびIEEE 1394(FireWire,i.LINK)※1
転送速度	400Mbps
動作温度	+5℃～35℃
動作湿度	20～80%　（結露なきこと）
外形寸法	44(W)× 52.5(L)× 17.1(H)mm
質量	約40g

※1 物理層は、P1394-2000に準拠。

●IEEE 1394ケーブル

名称	IEEE 1394ケーブル (6-6ピン)	IEEE 1394ケーブル (6-4ピン)
インターフェイス仕様	IEEE 1394※2	
対応速度	400Mbps	
ケーブル長	約100cm	

※2 物理層は、P1394aに準拠。

サポートセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
5. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
6. 現在の状態(起こったタイミング、本製品や画面、メッセージなどについて)。

■オンライン

インターネット	http://www.iodata.co.jp/support/

■郵便

住所　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器サポートセンター
「MOA/1394シリーズ」係　宛

■電話・FAX

電話番号	金沢　076-260-3688　東京　03-3254-1095
電話受け付け時間	9:30～19:00　月～金曜日(祝祭日を除く)
FAX番号	金沢　076-260-3360　東京　03-3254-9055

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.co.jp/　→「サポート・ライブラリ」

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サービス窓口
「MOA/1394シリーズ」　宛
電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。
（【サポートセンターへのお問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルNO.、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は、販売店へご依頼いただくか、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

・修理品の返送日については以下の窓口にお問い合わせください。

●サービス窓口

お問い合わせの際は、ご依頼の際にメモに控えた内容をお伝えください。

電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

MOA/1394シリーズ 取扱説明書
2001.Aug.30 95644-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2001 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。